地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ナイカイ青山ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 0 1
事業所等の所在地	〒 1 0 7 － 0 0 6 2　区市町村名 港区 町名番地以下 南青山4－20－19
事業所等の延床面積	1,345.92 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 52	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 101	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 101	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 75.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	208,190.0	9.76	2,031.9	0.4890	101.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,031.9		⑮ 101.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	844.0			0.2660	0.2
	公共下水道		□	m^3	844.0			0.4000	0.3
合　計									⑯ 0.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産ランドマークプラザ
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 0 2
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 1 1　区市町村名 港区 町名番地以下 芝公園1－6－7
事業所等の延床面積	5,109.48 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 151	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 294	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 295	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 57.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	602,191.0	9.76	5,877.4	0.4890	294.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,877.4		⑮ 294.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,203.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,203.0			0.4000	0.9
合　計									⑯ 1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産六本木通ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 0 4			
事業所等の所在地	〒 1 0 6 － 0 0 3 2	区市町村名	港区	
	町名番地以下	六本木7－18－18		
事業所等の延床面積	11,737.92 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2022年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 519	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 1,009	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 4	t
	総　計（④=②+③）	④ 1,013	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 85.9	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	2,064,548.0	9.76	20,150.0	0.4890	1,009.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 20,150.0		⑮ 1,009.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	7,187.0			0.2660	1.9
	公共下水道		□	m^3	7,187.0			0.4000	2.9
合　計									⑯ 4.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産大門ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 0 5
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 1 2　区市町村名 港区 町名番地以下 芝大門2－9－9
事業所等の延床面積	3,403.02 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 119	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 231	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 232	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 67.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	5,453.7	45.00	245.4	0.0136	12.2
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	447,939.0	9.76	4,371.9	0.4890	219.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,617.3		⑮ 231.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,899.0			0.2660	0.5
	公共下水道		□	m^3	1,899.0			0.4000	0.8
合　計									⑯ 1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産日比谷ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 0 6
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 0 3　区市町村名 港区 町名番地以下 西新橋2－8－6
事業所等の延床面積	18,166.29 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 684	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,328	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 7	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,335	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 73.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	128,442.8	45.00	5,779.9	0.0136	288.2
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,126,809.0	9.76	20,757.7	0.4890	1,040.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 26,537.6		⑮ 1,328.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	12,735.0			0.2660	3.4
	公共下水道		□	m^3	11,231.0			0.4000	4.5
合　計									⑯ 7.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産芝ビル2号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 0 9
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 1 4　区市町村名 港区 町名番地以下 芝1－5－9
事業所等の延床面積	4,951.19 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 109	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 213	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 213	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 43.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	436,239.0	9.76	4,257.7	0.4890	213.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,257.7		⑮ 213.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,368.0			0.2660	0.4
	公共下水道		□	m^3	1,368.0			0.4000	0.5
合　計									⑯ 0.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産芝ビル3号館													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	1	0				
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	1	4	区市町村名	港区			
	町名番地以下	芝1－7－17												
事業所等の延床面積	14,017.25	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)											
	□ 工場	□ 複合施設	□ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 446	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 866	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 7	t
	総　計(④=②+③)	④ 873	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 61.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	106,600.8	45.00	4,797.0	0.0136	239.2
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,283,461.0	9.76	12,526.6	0.4890	627.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 17,323.6		⑮ 866.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	11,907.0			0.2660	3.2
	公共下水道		□	m^3	9,897.0			0.4000	4.0
合　計									⑯ 7.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産芝ビル4号館													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	1	1				
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	1	4	区市町村名	港区			
	町名番地以下	芝2－13－4												
事業所等の延床面積	11,452.18	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	□ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	■ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)											
	□ 工場	□ 複合施設	□ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 300	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 584	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 587	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 50.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,194,625.0	9.76	11,659.5	0.4890	584.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 11,659.5		⑮ 584.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,291.0			0.2660	1.4
	公共下水道		□	m^3	5,291.0			0.4000	2.1
合　計									⑯ 3.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産芝ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	1	2				
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	1	4	区市町村名	港区			
	町名番地以下	芝1－11－11												
事業所等の延床面積	20,572.06	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 983	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,907	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 7	t
	総 計(④=②+③)	④ 1,914	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 92.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	180,502.5	45.00	8,122.6	0.0136	405.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	160.0	36.70	5.9	0.0185	0.4
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	3,071,569.0	9.76	29,978.5	0.4890	1,502.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 38,107.0		⑮ 1,907.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	13,555.0			0.2660	3.6
	公共下水道		□	m^3	10,126.0			0.4000	4.1
合 計									⑯ 7.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産芝三丁目ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	1	3				
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	1	4	区市町村名	港区			
	町名番地以下	芝3－39－9												
事業所等の延床面積	5,831.08	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 349	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 678	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 679	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 116.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,388,059.0	9.76	13,547.5	0.4890	678.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 13,547.5		⑮ 678.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,795.0			0.2660	0.7
	公共下水道		□	m^3	2,795.0			0.4000	1.1
合　計									⑯ 1.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産芝公園タワー
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 1 4
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 1 1　区市町村名 港区 町名番地以下 芝公園2－11－1
事業所等の延床面積	32,743.24 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 1,069	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 2,076	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 8	t
	総　計(④=②+③)	④ 2,084	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 63.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	4,246,141.0	9.76	41,442.3	0.4890	2,076.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 41,442.3		⑮ 2,076.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	13,015.0			0.2660	3.5
	公共下水道		□	m^3	13,825.0			0.4000	5.5
合　計									⑯ 9.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産芝園ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	1	5				
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	1	1	区市町村名	港区			
	町名番地以下	芝公園2－10－1												
事業所等の延床面積	3,493.19	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)											
	□ 工場	□ 複合施設	□ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 74	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 143	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 143	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 40.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	294,422.0	9.76	2,873.6	0.4890	144.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 2,873.6		⑮ 144.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	972.0			0.2660	0.3
	公共下水道		□	m^3	972.0			0.4000	0.4
合 計									⑯ 0.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産青山ビル南館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 1 7
事業所等の所在地	〒 1 0 7 － 0 0 5 2　区市町村名：港区 町名番地以下：赤坂8－10－24
事業所等の延床面積	2,763.62 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 135	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 262	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 263	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 94.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	537,323.0	9.76	5,244.3	0.4890	262.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,244.3		⑮ 262.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,971.0			0.2660	0.8
	公共下水道		□	m^3	2,971.0			0.4000	1.2
合　計									⑯ 2.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友新虎ノ門ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 1 8
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 0 1　区市町村名 港区 町名番地以下 虎ノ門4－3－9
事業所等の延床面積	8,100.63 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 497	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 966	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 5	t
	総　計(④=②+③)	④ 971	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 119.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	15,797.1	45.00	710.9	0.0136	35.4
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		60.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,904,564.0	9.76	18,588.5	0.4890	931.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 19,299.4		⑮ 966.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	8,334.0			0.2660	2.2
	公共下水道		□	m^3	8,180.0			0.4000	3.3
合　計									⑯ 5.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産東新橋ビル2号館														
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	1	9					
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	2	1	区市町村名	港区				
	町名番地以下	東新橋2－12－7													
事業所等の延床面積	8,462.61	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満										
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有													
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)												
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当							
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用												
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 290	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 563	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総 計(④=②+③)	④ 564	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 66.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,152,241.0	9.76	11,245.9	0.4890	563.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 11,245.9		⑮ 563.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,036.0			0.2660	0.5
	公共下水道		□	m^3	2,036.0			0.4000	0.8
合 計									⑯ 1.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産東新橋ビル3号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 2 0
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 1 3　区市町村名 港区 町名番地以下 浜松町1－10－14
事業所等の延床面積	11,028.36 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 417	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 811	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総　計(④=②+③)	④ 815	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 73.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,659,531.0	9.76	16,197.0	0.4890	811.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 16,197.0		⑮ 811.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	7,237.0			0.2660	1.9
	公共下水道		□	m^3	7,237.0			0.4000	2.9
合　計									⑯ 4.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産東新橋ビル5号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 2 2
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 2 1　区市町村名 港区 町名番地以下 東新橋2－11－7
事業所等の延床面積	2,829.09 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 93	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 180	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 180	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 63.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	369,605.0	9.76	3,607.3	0.4890	180.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,607.3		⑮ 180.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,416.0			0.2660	0.4
	公共下水道		□	m^3	1,416.0			0.4000	0.6
合　計									⑯ 0.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友浜松町ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 2 3
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 1 3　区市町村名 港区 町名番地以下 浜松町1－18－16
事業所等の延床面積	16,605.63 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 380	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 739	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 741	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 44.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,511,907.0	9.76	14,756.2	0.4890	739.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 14,756.2		⑮ 739.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,236.0			0.2660	1.1
	公共下水道		□	m^3	4,236.0			0.4000	1.7
合　計									⑯ 2.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友芝大門ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 2 5
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 1 2　区市町村名 港区 町名番地以下 芝大門2－5－5
事業所等の延床面積	12,951.08 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 401	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 780	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 783	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 60.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,595,214.0	9.76	15,569.3	0.4890	780.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 15,569.3		⑮ 780.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,559.0			0.2660	1.2
	公共下水道		□	m^3	4,559.0			0.4000	1.8
合　計									⑯ 3.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友芝浦ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 2 6
事業所等の所在地	〒 1 0 8 － 0 0 2 3　区市町村名 港区 町名番地以下 芝浦4－16－36
事業所等の延床面積	15,029.51 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 452	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 848	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 850	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 56.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	14,571.4	45.00	655.7	0.0136	32.7
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他(温水)		□	MJ	1,195,000.0	1.36	1,625.2	0.0600	71.7
	その他(冷水)		□	MJ	2,483,000.0	1.36	3,376.9	0.0600	149.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,216,479.0	9.76	11,872.8	0.4890	594.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 17,530.6		⑮ 848.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,044.0			0.2660	1.1
	公共下水道		□	m^3	4,044.0			0.4000	1.6
合　計									⑯ 2.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	新橋山根ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 2 7
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 2 1　区市町村名 港区 町名番地以下 東新橋2－5－14
事業所等の延床面積	2,773.09 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 127	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 246	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 247	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 88.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	504,826.0	9.76	4,927.1	0.4890	246.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,927.1		⑮ 246.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,926.0			0.2660	0.8
	公共下水道		□	m^3	2,926.0			0.4000	1.2
合　計									⑯ 1.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産品川港南ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 2 9
事業所等の所在地	〒 1 0 8 － 0 0 7 5　区市町村名：港区 町名番地以下：港南3－8－1
事業所等の延床面積	17,331.11 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 417	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 809	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 812	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 46.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	82,543.6	45.00	3,714.5	0.0136	185.2
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,277,480.0	9.76	12,468.2	0.4890	624.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 16,182.7		⑮ 809.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	7,035.0			0.2660	1.9
	公共下水道		□	m^3	5,239.0			0.4000	2.1
合　計									⑯ 4.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉ガーデンウイング
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 3 0
事業所等の所在地	〒 1 0 6 － 0 0 3 2　区市町村名 港区 町名番地以下 六本木1－6－3
事業所等の延床面積	3,400.52 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 116	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 225	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 226	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 66.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	476.6	45.00	21.4	0.0136	1.1
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	458,572.0	9.76	4,475.7	0.4890	224.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,497.1		⑮ 225.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,900.0			0.2660	0.5
	公共下水道		□	m^3	1,900.0			0.4000	0.8
合　計									⑯ 1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産東新橋ビル6号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 3 1
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 1 3　区市町村名 港区 町名番地以下 浜松町1－2－4
事業所等の延床面積	2,941.77 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 79	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 153	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 153	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 52.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	314,595.0	9.76	3,070.4	0.4890	153.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,070.4		⑮ 153.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,256.0			0.2660	0.3
	公共下水道		□	m^3	1,256.0			0.4000	0.5
合　計									⑯ 0.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	泉芝公園ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 3 4			
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 1 1	区市町村名	港区	
	町名番地以下	芝公園1－6－8		
事業所等の延床面積	1,310.77 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2022年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 14	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 27	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 27	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 20.5	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	56,837.0	9.76	554.7	0.4890	27.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 554.7		⑮ 27.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	211.0			0.2660	0.1
	公共下水道		□	m^3	211.0			0.4000	0.1
合　計									⑯ 0.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉芝大門ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	3	5				
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	1	2	区市町村名	港区			
	町名番地以下	芝大門2－2－11												
事業所等の延床面積	3,610.35	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 109	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 211	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 211	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 58.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	433,216.0	9.76	4,228.2	0.4890	211.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,228.2		⑮ 211.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,204.0			0.2660	0.3
	公共下水道		□	m^3	1,204.0			0.4000	0.5
合　計									⑯ 0.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉西麻布ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 3 6
事業所等の所在地	〒 1 0 6 － 0 0 3 1　区市町村名：港区 町名番地以下：西麻布4－3－11
事業所等の延床面積	2,995.63 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 62	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 121	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 121	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 40.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	248,684.0	9.76	2,427.2	0.4890	121.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,427.2		⑮ 121.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	606.0			0.2660	0.2
	公共下水道		□	m^3	606.0			0.4000	0.2
合　計									⑯ 0.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	留園ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	3	8				
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	1	1	区市町村名	港区			
	町名番地以下	芝公園1－3－1												
事業所等の延床面積	6,826.21	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	□ 自己所有	■ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 206	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 401	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 402	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 58.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	821,315.0	9.76	8,016.0	0.4890	401.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 8,016.0		⑮ 401.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,611.0			0.2660	0.7
	公共下水道		□	m^3	2,611.0			0.4000	1.0
合　計									⑯ 1.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友芝大門ビル2号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 3 9
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 1 2　区市町村名 港区 町名番地以下 芝大門1－12－16
事業所等の延床面積	2,353.55 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 61	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 119	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 119	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 50.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	244,665.0	9.76	2,387.9	0.4890	119.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,387.9		⑮ 119.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,019.0			0.2660	0.3
	公共下水道		□	m^3	1,019.0			0.4000	0.4
合　計									⑯ 0.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産青山ビル東館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 4 1
事業所等の所在地	〒 1 0 7 － 0 0 5 2　区市町村名：港区 町名番地以下：赤坂8－5－27
事業所等の延床面積	15,770.94 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 230	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 447	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 449	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 28.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	916,120.0	9.76	8,941.3	0.4890	448.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 8,941.3		⑮ 448.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,299.0			0.2660	0.9
	公共下水道		□	m^3	3,324.0			0.4000	1.3
合　計									⑯ 2.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	五番町YSビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 4 5			
事業所等の所在地	〒 1 0 2 － 0 0 7 6	区市町村名	千代田区	
	町名番地以下	五番町12－3		
事業所等の延床面積	1,712.46 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　■ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2022年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 198	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 385	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 385	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 224.8	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	787,429.0	9.76	7,685.3	0.4890	385.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,685.3		⑮ 385.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	875.0			0.2660	0.2
	公共下水道		□	m^3	875.0			0.4000	0.4
合　計									⑯ 0.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産一ツ橋ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 4 6
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 5 1　区市町村名：千代田区 町名番地以下：神田神保町3－29－1
事業所等の延床面積	5,359.65 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 100	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 194	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 194	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 36.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	398,363.0	9.76	3,888.0	0.4890	194.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,888.0		⑮ 194.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,105.0			0.2660	0.3
	公共下水道		□	m^3	1,105.0			0.4000	0.4
合　計									⑯ 0.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産一番町ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 4 8
事業所等の所在地	〒 1 0 2 － 0 0 8 2　区市町村名：千代田区 町名番地以下：一番町8
事業所等の延床面積	11,102.44 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 255	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 495	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 496	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 44.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,013,408.0	9.76	9,890.9	0.4890	495.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 9,890.9		⑮ 495.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,667.0			0.2660	0.7
	公共下水道		□	m^3	2,667.0			0.4000	1.1
合　計									⑯ 1.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産三番町ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 4 9
事業所等の所在地	〒 1 0 2 － 0 0 7 5　区市町村名：千代田区 町名番地以下：三番町6－26
事業所等の延床面積	1,606.80 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 73	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 143	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 143	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 88.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	292,950.0	9.76	2,859.2	0.4890	143.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,859.2		⑮ 143.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	781.0			0.2660	0.2
	公共下水道		□	m^3	781.0			0.4000	0.3
合　計									⑯ 0.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産九段ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	5	0				
事業所等の所在地	〒	1	0	2	－	0	0	7	3	区市町村名	千代田区			
	町名番地以下	九段北1－8－10												
事業所等の延床面積	17,789.12	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 708	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,376	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総 計(④=②+③)	④ 1,380	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 77.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,814,157.0	9.76	27,466.2	0.4890	1,376.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 27,466.2		⑮ 1,376.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,454.0			0.2660	1.7
	公共下水道		□	m^3	6,454.0			0.4000	2.6
合 計									⑯ 4.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産九段下ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 5 1
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 5 1　区市町村名：千代田区 町名番地以下：神田神保町3－5
事業所等の延床面積	6,090.09 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 232	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 450	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 452	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 73.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	921,736.0	9.76	8,996.1	0.4890	450.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 8,996.1		⑮ 450.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,508.0			0.2660	0.9
	公共下水道		□	m^3	3,508.0			0.4000	1.4
合　計									⑯ 2.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産九段北ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	5	2				
事業所等の所在地	〒	1	0	2	－	0	0	7	3	区市町村名	千代田区			
	町名番地以下	九段北3－2－11												
事業所等の延床面積	6,507.95	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	□ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	■ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 229	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 445	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 448	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 68.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	911,296.0	9.76	8,894.2	0.4890	445.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 8,894.2		⑮ 445.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,983.0			0.2660	1.3
	公共下水道		□	m^3	4,983.0			0.4000	2.0
合　計									⑯ 3.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産二番町ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	5	3				
事業所等の所在地	〒	1	0	2	－	0	0	8	4	区市町村名	千代田区			
	町名番地以下	二番町11－7												
事業所等の延床面積	4,399.42	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 105	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 204	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 204	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 46.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	417,929.0	9.76	4,079.0	0.4890	204.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 4,079.0		⑮ 204.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,465.0			0.2660	0.4
	公共下水道		□	m^3	1,465.0			0.4000	0.6
合 計									⑯ 1.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産千代田ファーストビル南館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 5 4
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 6 5　区市町村名：千代田区 町名番地以下：西神田3－2－1
事業所等の延床面積	10,582.10 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 441	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 857	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 859	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 80.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,753,350.0	9.76	17,112.7	0.4890	857.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 17,112.7		⑮ 857.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,715.0			0.2660	1.0
	公共下水道		□	m^3	3,715.0			0.4000	1.5
合　計									⑯ 2.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産小石川ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 5 5
事業所等の所在地	〒 1 1 2 － 0 0 0 2　区市町村名：文京区 町名番地以下：小石川5－41－10
事業所等の延床面積	3,274.89 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 72	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 140	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 140	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 42.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	286,712.0	9.76	2,798.3	0.4890	140.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,798.3		⑮ 140.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,473.0			0.2660	0.4
	公共下水道		□	m^3	1,473.0			0.4000	0.6
合　計									⑯ 1.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産後楽園ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	5	6				
事業所等の所在地	〒	1	1	2	－	0	0	0	2	区市町村名	文京区			
	町名番地以下	小石川1－4－1												
事業所等の延床面積	22,796.99	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	□ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	■ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)											
	□ 工場	□ 複合施設	□ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 754	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,464	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 5	t
	総 計(④=②+③)	④ 1,469	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 64.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	88,271.5	45.00	3,972.2	0.0136	198.1
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,590,111.0	9.76	25,279.5	0.4890	1,266.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 29,251.7		⑮ 1,464.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	7,706.0			0.2660	2.0
	公共下水道		□	m^3	7,706.0			0.4000	3.1
合 計									⑯ 5.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産御茶ノ水ビルアネックス
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 5 7
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 6 2　区市町村名：千代田区 町名番地以下：神田駿河台2－3
事業所等の延床面積	3,526.80 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 92	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 178	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 178	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 50.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	365,689.0	9.76	3,569.1	0.4890	178.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,569.1		⑮ 178.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	808.0			0.2660	0.2
	公共下水道		□	m^3	808.0			0.4000	0.3
合　計									⑯ 0.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産新赤坂ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	5	8				
事業所等の所在地	〒	1	0	7	－	0	0	5	2	区市町村名	港区			
	町名番地以下	赤坂4－2－6												
事業所等の延床面積	19,711.27	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満										
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有													
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)													
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他													
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当								
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用													
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 768	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,492	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 8	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,500	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 75.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	3,051,312.0	9.76	29,780.8	0.4890	1,492.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 29,780.8		⑮ 1,492.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	12,532.0			0.2660	3.3
	公共下水道		□	m^3	12,532.0			0.4000	5.0
合　計									⑯ 8.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産本郷ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 5 9			
事業所等の所在地	〒 1 1 3 － 0 0 3 3	区市町村名	文京区	
	町名番地以下	本郷3－22－5		
事業所等の延床面積	7,427.28 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2022年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 273	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 531	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 532	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 71.4	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	1,087,457.0	9.76	10,613.6	0.4890	531.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 10,613.6		⑮ 531.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,540.0			0.2660	0.7
	公共下水道		□	m^3	2,540.0			0.4000	1.0
合　計									⑯ 1.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産永田町ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 6 1
事業所等の所在地	〒 1 0 0 － 0 0 1 4　区市町村名：千代田区 町名番地以下：永田町2－17－3
事業所等の延床面積	2,973.81 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 72	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 140	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 140	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 47.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	287,886.0	9.76	2,809.8	0.4890	140.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,809.8		⑮ 140.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,107.0			0.2660	0.3
	公共下水道		□	m^3	1,107.0			0.4000	0.4
合　計									⑯ 0.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産江戸川橋駅前ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 6 2
事業所等の所在地	〒 1 1 2 － 0 0 1 4　区市町村名：文京区 町名番地以下：関口1－20－10
事業所等の延床面積	4,931.21 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 184	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 357	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 358	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 72.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	731,641.0	9.76	7,140.8	0.4890	357.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,140.8		⑮ 357.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,945.0			0.2660	0.5
	公共下水道		□	m^3	1,945.0			0.4000	0.8
合　計									⑯ 1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産池袋西口ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	6	3				
事業所等の所在地	〒	1	7	1	－	0	0	2	1	区市町村名	豊島区			
	町名番地以下	西池袋1－21－7												
事業所等の延床面積	7,094.92	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 199	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 388	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総 計(④=②+③)	④ 390	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 54.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	10,254.3	45.00	461.4	0.0136	23.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	746,756.0	9.76	7,288.3	0.4890	365.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 7,749.8		⑮ 388.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,377.0			0.2660	0.9
	公共下水道		□	m^3	3,377.0			0.4000	1.4
合 計									⑯ 2.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産猿楽町ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	6	4				
事業所等の所在地	〒	1	0	1	－	0	0	6	4	区市町村名	千代田区			
	町名番地以下	猿楽町2－8－8												
事業所等の延床面積	20,930.58	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 858	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,702	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 14	t
	総 計(④=②+③)	④ 1,716	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 81.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	87,712.3	45.00	3,947.1	0.0136	196.8
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	55,000.0	36.70	2,018.5	0.0185	136.9
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,798,409.0	9.76	27,312.5	0.4890	1,368.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 33,278.0		⑮ 1,702.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	22,345.0			0.2660	5.9
	公共下水道		□	m^3	21,295.0			0.4000	8.5
合 計									⑯ 14.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産神田ビル2号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 6 5
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 4 1　区市町村名：千代田区 町名番地以下：神田須田町1－23－1
事業所等の延床面積	18,840.38 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 803	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,560	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 5	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,565	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 82.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	□		0.0				
	その他()	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	3,190,968.0	9.76	31,143.8	0.4890	1,560.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計						⑭ 31,143.8		⑮ 1,560.4
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	8,771.0			0.2660	2.3
	公共下水道	□	m^3	8,771.0			0.4000	3.5
合　計								⑯ 5.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産音羽ビル												
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	6	7			
事業所等の所在地	〒	1	1	2	－	0	0	1	2	区市町村名	文京区		
	町名番地以下	大塚2－9－3											
事業所等の延床面積	2,341.97	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満								
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有											
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)										
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他							
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当					
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用										
前年度の報告内容からの変更点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 179	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 348	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総 計(④=②+③)	④ 349	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 148.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	712,161.0	9.76	6,950.7	0.4890	348.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 6,950.7		⑮ 348.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,354.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,354.0			0.4000	0.9
合 計									⑯ 1.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産飯田橋ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	6	8				
事業所等の所在地	〒	1	1	2	－	0	0	0	4	区市町村名	文京区			
	町名番地以下	後楽2－3－21												
事業所等の延床面積	9,902.91	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	□ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	■ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 273	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 530	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 531	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 53.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,085,357.0	9.76	10,593.1	0.4890	530.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 10,593.1		⑮ 530.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,670.0			0.2660	0.7
	公共下水道		□	m^3	2,670.0			0.4000	1.1
合　計									⑯ 1.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産飯田橋ビル2号館・ウィング
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 6 9
事業所等の所在地	〒 1 1 2 － 0 0 0 4　区市町村名　文京区 町名番地以下　後楽2-2-23・22
事業所等の延床面積	7,068.25 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 222	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 432	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 434	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 61.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	884,649.0	9.76	8,634.2	0.4890	432.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 8,634.2		⑮ 432.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,366.0			0.2660	1.2
	公共下水道		□	m^3	4,366.0			0.4000	1.7
合　計									⑯ 2.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産飯田橋駅前ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	7	1				
事業所等の所在地	〒	1	0	2	－	0	0	7	2	区市町村名	千代田区			
	町名番地以下	飯田橋3－8－5												
事業所等の延床面積	16,012.03	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)											
	□ 工場	□ 複合施設	□ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 700	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,361	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総 計(④=②+③)	④ 1,365	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 84.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,783,509.0	9.76	27,167.0	0.4890	1,361.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 27,167.0		⑮ 1,361.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	7,213.0			0.2660	1.9
	公共下水道		□	m^3	7,213.0			0.4000	2.9
合 計									⑯ 4.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産麹町ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	7	2				
事業所等の所在地	〒	1	0	2	－	0	0	8	4	区市町村名	千代田区			
	町名番地以下	二番町5－1												
事業所等の延床面積	9,849.81	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 336	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 653	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 656	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 66.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,335,896.0	9.76	13,038.3	0.4890	653.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 13,038.3		⑮ 653.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,957.0			0.2660	1.3
	公共下水道		□	m^3	4,957.0			0.4000	2.0
合　計									⑯ 3.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産麹町ビル3号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 7 3
事業所等の所在地	〒 1 0 2 － 0 0 8 3　区市町村名：千代田区 町名番地以下：麹町3－6
事業所等の延床面積	3,874.87 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 138	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 268	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 268	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 69.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	549,244.0	9.76	5,360.6	0.4890	268.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,360.6		⑮ 268.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,152.0			0.2660	0.3
	公共下水道		□	m^3	1,152.0			0.4000	0.5
合　計									⑯ 0.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友半蔵門ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 7 5
事業所等の所在地	〒 1 0 2 － 0 0 9 2　区市町村名：千代田区 町名番地以下：隼町3－16
事業所等の延床面積	9,236.63 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 233	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 452	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 455	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 48.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	925,807.0	9.76	9,035.9	0.4890	452.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 9,035.9		⑮ 452.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,621.0			0.2660	1.5
	公共下水道		□	m^3	5,621.0			0.4000	2.2
合　計									⑯ 3.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友水道橋ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 7 7
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 6 4　区市町村名：千代田区 町名番地以下：猿楽町2－7－8
事業所等の延床面積	5,747.25 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 242	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 471	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 474	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 81.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	963,995.0	9.76	9,408.6	0.4890	471.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 9,408.6		⑮ 471.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,909.0			0.2660	1.3
	公共下水道		□	m^3	4,909.0			0.4000	2.0
合　計									⑯ 3.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友池袋駅前ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 7 8
事業所等の所在地	〒 1 7 0 － 0 0 1 3　区市町村名：豊島区 町名番地以下：東池袋1－10－1
事業所等の延床面積	18,265.65 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 549	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,066	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 9	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,075	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 58.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	74,665.6	45.00	3,360.0	0.0136	167.5
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,838,566.0	9.76	17,944.4	0.4890	899.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 21,304.4		⑮ 1,066.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	15,148.0			0.2660	4.0
	公共下水道		□	m^3	14,062.0			0.4000	5.6
合　計									⑯ 9.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友神保町ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 7 9
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 5 1　区市町村名：千代田区 町名番地以下：神田神保町3－25
事業所等の延床面積	6,322.27 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 187	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 363	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 365	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 57.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	742,957.0	9.76	7,251.3	0.4890	363.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,251.3		⑮ 363.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,679.0			0.2660	1.0
	公共下水道		□	m^3	3,679.0			0.4000	1.5
合　計									⑯ 2.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	半蔵門ファーストビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 8 0			
事業所等の所在地	〒 1 0 2 － 0 0 8 3	区市町村名	千代田区	
	町名番地以下	麹町1－4		
事業所等の延床面積	13,772.71 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　■ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2022年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 710	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 1,379	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 5	t
	総　計（④=②+③）	④ 1,384	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 100.1	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	2,822,014.0	9.76	27,542.9	0.4890	1,380.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 27,542.9		⑮ 1,380.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	7,688.0			0.2660	2.0
	公共下水道		□	m^3	7,688.0			0.4000	3.1
合　計									⑯ 5.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	川喜多メモリアルビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 8 1
事業所等の所在地	〒 1 0 2 － 0 0 8 2　区市町村名：千代田区 町名番地以下：一番町18
事業所等の延床面積	4,999.02 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 112	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 218	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 219	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 43.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	446,680.0	9.76	4,359.6	0.4890	218.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,359.6		⑮ 218.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,989.0			0.2660	0.5
	公共下水道		□	m^3	1,989.0			0.4000	0.8
合　計									⑯ 1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	御茶ノ水ファーストビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 8 3
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 6 2　区市町村名：千代田区 町名番地以下：神田駿河台2－5－1
事業所等の延床面積	11,387.86 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 506	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 983	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 6	t
	総　計(④=②+③)	④ 989	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 86.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,012,049.0	9.76	19,637.6	0.4890	983.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 19,637.6		⑮ 983.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	10,225.0			0.2660	2.7
	公共下水道		□	m^3	10,225.0			0.4000	4.1
合　計									⑯ 6.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	水道橋HSビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 8 5
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 6 1　区市町村名 千代田区 町名番地以下 三崎町1－2－8
事業所等の延床面積	1,645.69 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 58	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 114	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 114	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 69.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	233,264.0	9.76	2,276.7	0.4890	114.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,276.7		⑮ 114.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,029.0			0.2660	0.3
	公共下水道		□	m^3	1,029.0			0.4000	0.4
合　計									⑯ 0.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉白山ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 8 6
事業所等の所在地	〒 1 1 2 － 0 0 0 1　区市町村名：文京区 町名番地以下：白山2－29－4
事業所等の延床面積	1,760.60 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 62	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 122	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 122	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 69.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	249,814.0	9.76	2,438.2	0.4890	122.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,438.2		⑮ 122.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	807.0			0.2660	0.2
	公共下水道		□	m^3	807.0			0.4000	0.3
合　計									⑯ 0.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉赤坂ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 8 7
事業所等の所在地	〒 1 0 7 － 0 0 5 2　区市町村名：港区 町名番地以下：赤坂2－22－24
事業所等の延床面積	2,016.25 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 135	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 263	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 264	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 130.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	13,050.8	45.00	587.3	0.0136	29.3
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	478,676.0	9.76	4,671.9	0.4890	234.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,259.2		⑮ 263.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,734.0			0.2660	0.7
	公共下水道		□	m^3	2,734.0			0.4000	1.1
合　計									⑯ 1.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産原宿ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 9 1
事業所等の所在地	〒 1 5 0 － 0 0 0 1　区市町村名　渋谷区 町名番地以下　神宮前2－34－17
事業所等の延床面積	18,901.94 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 736	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,430	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 6	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,436	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 75.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,924,339.0	9.76	28,541.5	0.4890	1,430.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 28,541.5		⑮ 1,430.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	9,282.0			0.2660	2.5
	公共下水道		□	m^3	9,282.0			0.4000	3.7
合　計									⑯ 6.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産品川シーサイドビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 9 2
事業所等の所在地	〒 1 4 0 － 0 0 0 2　区市町村名：品川区 町名番地以下：東品川4－13－9
事業所等の延床面積	21,744.44 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 934	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,812	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 14	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,826	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 83.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	234,756.9	45.00	10,564.1	0.0136	526.8
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,630,168.0	9.76	25,670.4	0.4890	1,286.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 36,234.5		⑮ 1,812.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	22,067.0			0.2660	5.9
	公共下水道		□	m^3	22,067.0			0.4000	8.8
合　計									⑯ 14.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産四谷ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	0	9	3				
事業所等の所在地	〒	1	6	0	－	0	0	0	7	区市町村名	新宿区			
	町名番地以下	荒木町13－4												
事業所等の延床面積	14,153.70	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	□ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	■ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 447	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 869	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 6	t
	総　計(④=②+③)	④ 875	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 61.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,777,407.0	9.76	17,347.5	0.4890	869.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 17,347.5		⑮ 869.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	9,280.0			0.2660	2.5
	公共下水道		□	m^3	9,280.0			0.4000	3.7
合　計									⑯ 6.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産笹塚太陽ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 9 8
事業所等の所在地	〒 1 5 1 － 0 0 7 3　区市町村名：渋谷区 町名番地以下：笹塚1－48－3
事業所等の延床面積	7,396.07 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 263	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 512	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 514	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 69.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,048,333.0	9.76	10,231.7	0.4890	512.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 10,231.7		⑮ 512.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,147.0			0.2660	0.8
	公共下水道		□	m^3	3,147.0			0.4000	1.3
合　計									⑯ 2.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産西五反田ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 0 9 9
事業所等の所在地	〒 1 4 1 － 0 0 3 1　区市町村名：品川区 町名番地以下：西五反田3－6－21
事業所等の延床面積	7,558.38 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 244	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 474	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 477	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 62.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	970,623.0	9.76	9,473.3	0.4890	474.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 9,473.3		⑮ 474.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,691.0			0.2660	1.2
	公共下水道		□	m^3	4,691.0			0.4000	1.9
合　計									⑯ 3.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産西新宿ビル3号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 0 0
事業所等の所在地	〒 1 6 0 － 0 0 2 3　区市町村名：新宿区 町名番地以下：西新宿4－15－3
事業所等の延床面積	12,551.03 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 276	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 536	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 538	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 42.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,098,074.0	9.76	10,717.2	0.4890	537.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 10,717.2		⑮ 537.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,314.0			0.2660	0.9
	公共下水道		□	m^3	3,356.0			0.4000	1.3
合　計									⑯ 2.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産西新宿ビル5号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 0 1
事業所等の所在地	〒 1 6 0 － 0 0 2 3　区市町村名：新宿区 町名番地以下：西新宿4－34－7
事業所等の延床面積	16,510.97 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 628	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,219	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 5	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,224	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 73.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,494,287.0	9.76	24,344.2	0.4890	1,219.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 24,344.2		⑮ 1,219.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	8,020.0			0.2660	2.1
	公共下水道		□	m^3	8,020.0			0.4000	3.2
合　計									⑯ 5.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産西新宿ビル6号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 0 2
事業所等の所在地	〒 1 5 1 － 0 0 7 1　区市町村名：渋谷区 町名番地以下：本町3－12－1
事業所等の延床面積	19,030.97 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 855	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,661	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,665	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 87.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	□		0.0				
	その他()	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	3,397,428.0	9.76	33,158.9	0.4890	1,661.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計						⑭ 33,158.9		⑮ 1,661.3
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	7,470.0			0.2660	2.0
	公共下水道	□	m^3	7,470.0			0.4000	3.0
合　計								⑯ 5.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産西新宿ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 0 3
事業所等の所在地	〒 1 6 0 － 0 0 2 3　区市町村名：新宿区 町名番地以下：西新宿7－20－1
事業所等の延床面積	32,311.86 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 1,097	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 2,131	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 8	t
	総　計(④=②+③)	④ 2,139	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 65.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	4,358,212.0	9.76	42,536.1	0.4890	2,131.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 42,536.1		⑮ 2,131.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	12,609.0			0.2660	3.4
	公共下水道		□	m^3	12,609.0			0.4000	5.0
合　計									⑯ 8.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産西新宿ビル2号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 0 4
事業所等の所在地	〒 1 6 0 － 0 0 2 3　区市町村名：新宿区 町名番地以下：西新宿8－15－17
事業所等の延床面積	4,087.17 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 105	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 205	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 206	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 50.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	419,866.0	9.76	4,097.9	0.4890	205.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,097.9		⑮ 205.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,370.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,370.0			0.4000	0.9
合　計									⑯ 1.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産青山通ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 0 5			
事業所等の所在地	〒 1 5 0 － 0 0 0 2	区市町村名	渋谷区	
	町名番地以下	渋谷1－7－7		
事業所等の延床面積	9,565.68 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2022年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 477	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 927	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 2	t
	総　計（④=②+③）	④ 929	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 96.9	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	1,896,299.0	9.76	18,507.9	0.4890	927.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 18,507.9		⑮ 927.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,390.0			0.2660	1.2
	公共下水道		□	m^3	4,390.0			0.4000	1.8
合　計									⑯ 2.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産青葉台ヒルズ
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 0 7
事業所等の所在地	〒 1 5 3 － 0 0 4 2　区市町村名：目黒区 町名番地以下：青葉台4－7－7
事業所等の延床面積	17,746.70 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 642	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,246	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,250	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 70.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	106,896.5	45.00	4,810.3	0.0136	239.9
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,058,531.0	9.76	20,091.3	0.4890	1,006.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 24,901.6		⑮ 1,246.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	7,904.0			0.2660	2.1
	公共下水道		□	m^3	5,510.0			0.4000	2.2
合　計									⑯ 4.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産高輪パークタワー
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 0 8
事業所等の所在地	〒 1 4 1 － 0 0 2 2　区市町村名：品川区 町名番地以下：東五反田3－20－14
事業所等の延床面積	16,718.36 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 795	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,542	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 7	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,549	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 92.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	170,142.8	45.00	7,656.4	0.0136	381.8
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,373,436.0	9.76	23,164.7	0.4890	1,160.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 30,821.2		⑮ 1,542.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	13,730.0			0.2660	3.7
	公共下水道		□	m^3	10,512.0			0.4000	4.2
合　計									⑯ 7.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友五反田ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 0 9
事業所等の所在地	〒 1 4 1 － 0 0 3 1　区市町村名：品川区 町名番地以下：西五反田7－1－1
事業所等の延床面積	5,170.51 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 108	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 210	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 210	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 40.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	431,042.0	9.76	4,207.0	0.4890	210.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,207.0		⑮ 210.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	847.0			0.2660	0.2
	公共下水道		□	m^3	847.0			0.4000	0.3
合　計									⑯ 0.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友大井町ビル北館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 1 1
事業所等の所在地	〒 1 4 0 － 0 0 1 4　区市町村名：品川区 町名番地以下：大井1－20－6
事業所等の延床面積	4,087.29 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 187	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 364	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 366	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 89.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	744,640.0	9.76	7,267.7	0.4890	364.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,267.7		⑮ 364.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,107.0			0.2660	0.8
	公共下水道		□	m^3	3,107.0			0.4000	1.2
合　計									⑯ 2.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友市ヶ谷ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 1 2
事業所等の所在地	〒 1 6 2 － 0 8 4 5　区市町村名：新宿区 町名番地以下：市谷本村町1－1
事業所等の延床面積	16,017.44 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 396	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 770	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総　計(④=②+③)	④ 774	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 48.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	5,753.5	45.00	258.9	0.0136	12.9
	その他(LPG)	□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	□		0.0				
	その他()	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	1,549,906.0	9.76	15,127.1	0.4890	757.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計						⑭ 15,386.0		⑮ 770.8
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	7,469.0			0.2660	2.0
	公共下水道	□	m^3	7,469.0			0.4000	3.0
合　計								⑯ 5.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	原宿グランドヒルズ
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 1 5
事業所等の所在地	〒 1 5 1 － 0 0 5 1　区市町村名：渋谷区 町名番地以下：千駄ヶ谷3－53
事業所等の延床面積	1,223.47 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 13	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 27	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 27	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 22.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	55,281.0	9.76	539.5	0.4890	27.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 539.5		⑮ 27.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	102.0			0.2660	0.0
	公共下水道		□	m^3	102.0			0.4000	0.0
合　計									⑯ 0.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	恵比寿SSビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 1 7
事業所等の所在地	〒 1 5 0 － 0 0 1 3　区市町村名：渋谷区 町名番地以下：恵比寿4－3－14
事業所等の延床面積	9,079.12 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 293	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 569	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 572	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 62.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,163,917.0	9.76	11,359.8	0.4890	569.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 11,359.8		⑮ 569.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,539.0			0.2660	1.5
	公共下水道		□	m^3	5,539.0			0.4000	2.2
合　計									⑯ 3.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	新宿アイランドウイング
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 1 8
事業所等の所在地	〒 1 6 0 － 0 0 2 3　区市町村名：新宿区 町名番地以下：西新宿6－3－1
事業所等の延床面積	20,141.65 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 862	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,598	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 5	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,603	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 79.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他(産業用以外の蒸気)		□	MJ	4,003,000.0	1.36	5,444.1	0.0600	240.2
	その他(冷水)		□	MJ	5,430,000.0	1.36	7,384.8	0.0600	325.8
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,110,818.0	9.76	20,601.6	0.4890	1,032.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 33,430.5		⑮ 1,598.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,418.0			0.2660	0.4
	公共下水道		□	m^3	11,760.0			0.4000	4.7
合　計									⑯ 5.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	新宿三光町ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 1 9
事業所等の所在地	〒 1 6 0 － 0 0 2 2　区市町村名：新宿区 町名番地以下：新宿5－15－5
事業所等の延床面積	7,979.88 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 349	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 678	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 679	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 84.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	13,069.2	45.00	588.1	0.0136	29.3
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,328,259.0	9.76	12,963.8	0.4890	649.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 13,551.9		⑮ 678.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,413.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,071.0			0.4000	0.8
合　計									⑯ 1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産新宿御苑ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 2 0
事業所等の所在地	〒 1 6 0 － 0 0 2 2　区市町村名：新宿区 町名番地以下：新宿2－13－12
事業所等の延床面積	5,264.02 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 195	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 380	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 381	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 72.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	777,809.0	9.76	7,591.4	0.4890	380.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,591.4		⑮ 380.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,348.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,348.0			0.4000	0.9
合　計									⑯ 1.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉ホシイチビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 2 1
事業所等の所在地	〒 1 6 0 － 0 0 2 3　区市町村名：新宿区 町名番地以下：西新宿7－22－12
事業所等の延床面積	3,444.17 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 148	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 288	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 291	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 83.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	590,930.0	9.76	5,767.5	0.4890	289.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,767.5		⑮ 289.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,770.0			0.2660	1.3
	公共下水道		□	m^3	4,770.0			0.4000	1.9
合　計									⑯ 3.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉西新宿ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 2 2
事業所等の所在地	〒 1 5 1 － 0 0 7 1　区市町村名：渋谷区 町名番地以下：本町4－12－7
事業所等の延床面積	3,213.92 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 74	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 145	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 145	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 45.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	297,213.0	9.76	2,900.8	0.4890	145.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,900.8		⑮ 145.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,289.0			0.2660	0.3
	公共下水道		□	m^3	1,289.0			0.4000	0.5
合　計									⑯ 0.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	渋谷インフォスウイング
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 2 3
事業所等の所在地	〒 1 5 0 － 0 0 3 1　区市町村名：渋谷区 町名番地以下：桜丘町20－4
事業所等の延床面積	6,040.32 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 254	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 494	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 495	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 81.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,011,739.0	9.76	9,874.6	0.4890	494.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 9,874.6		⑮ 494.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,540.0			0.2660	0.7
	公共下水道		□	m^3	2,540.0			0.4000	1.0
合　計									⑯ 1.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産西五反田七丁目ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 2 4
事業所等の所在地	〒 1 4 1 － 0 0 3 1　区市町村名：品川区 町名番地以下：西五反田7－25－9
事業所等の延床面積	5,824.77 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：□ 1年度分　■ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	2023年1月末売却

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 23	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 45	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 45	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 7.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	92,648.0	9.76	904.2	0.4890	45.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 904.2		⑮ 45.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	216.0			0.2660	0.1
	公共下水道		□	m^3	216.0			0.4000	0.1
合　計									⑯ 0.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	MY ARK日本橋ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 2 5
事業所等の所在地	〒 1 0 3 － 0 0 0 6　区市町村名 中央区 町名番地以下 日本橋富沢町10－16
事業所等の延床面積	4,781.96 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 147	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 287	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 288	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 60.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	587,165.0	9.76	5,730.7	0.4890	287.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,730.7		⑮ 287.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,420.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,420.0			0.4000	1.0
合　計									⑯ 1.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産日本橋本町ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 2 6
事業所等の所在地	〒 1 0 3 － 0 0 2 3　区市町村名：中央区 町名番地以下：日本橋本町4－11－5
事業所等の延床面積	7,659.40 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 184	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 358	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 360	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 46.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	733,027.0	9.76	7,154.3	0.4890	358.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,154.3		⑮ 358.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,784.0			0.2660	1.0
	公共下水道		□	m^3	3,784.0			0.4000	1.5
合　計									⑯ 2.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野ビル6号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 2 8
事業所等の所在地	〒 1 1 0 － 0 0 1 5　区市町村名：台東区 町名番地以下：東上野5－24－8
事業所等の延床面積	10,127.58 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 269	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 524	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 527	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 51.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,072,073.0	9.76	10,463.4	0.4890	524.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 10,463.4		⑮ 524.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,644.0			0.2660	1.5
	公共下水道		□	m^3	5,644.0			0.4000	2.3
合　計									⑯ 3.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 2 9
事業所等の所在地	〒 1 1 0 － 0 0 1 4　区市町村名：台東区 町名番地以下：北上野1－9－12
事業所等の延床面積	8,432.91 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 214	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 417	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 419	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 49.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	□		0.0				
	その他()	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	852,827.0	9.76	8,323.6	0.4890	417.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計						⑭ 8,323.6		⑮ 417.0
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	3,451.0			0.2660	0.9
	公共下水道	□	m^3	3,451.0			0.4000	1.4
合　計								⑯ 2.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野ビル3号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 3 0
事業所等の所在地	〒 1 1 0 － 0 0 1 4　区市町村名：台東区 町名番地以下：北上野1－8－1
事業所等の延床面積	3,888.28 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 106	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 205	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 206	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 52.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	421,121.0	9.76	4,110.1	0.4890	205.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,110.1		⑮ 205.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,719.0			0.2660	0.7
	公共下水道		□	m^3	2,719.0			0.4000	1.1
合　計									⑯ 1.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野ビル4号館													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	3	1				
事業所等の所在地	〒	1	1	0	－	0	0	0	5	区市町村名	台東区			
	町名番地以下	上野7－12－14												
事業所等の延床面積	4,197.89	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 96	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 187	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 187	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 44.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	383,725.0	9.76	3,745.2	0.4890	187.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 3,745.2		⑮ 187.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,302.0			0.2660	0.3
	公共下水道		□	m^3	1,302.0			0.4000	0.5
合 計									⑯ 0.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野ビル7号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 3 2
事業所等の所在地	〒 1 1 0 － 0 0 0 3　区市町村名：台東区 町名番地以下：根岸1－2－17
事業所等の延床面積	4,734.09 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 81	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 158	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 158	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 33.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	324,927.0	9.76	3,171.3	0.4890	158.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,171.3		⑮ 158.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,500.0			0.2660	0.4
	公共下水道		□	m^3	1,500.0			0.4000	0.6
合　計									⑯ 1.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野ビル8号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 3 3
事業所等の所在地	〒 1 1 0 － 0 0 1 5　区市町村名：台東区 町名番地以下：東上野6－9－3
事業所等の延床面積	8,190.65 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 293	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 570	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総　計(④=②+③)	④ 574	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 69.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,167,211.0	9.76	11,392.0	0.4890	570.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 11,392.0		⑮ 570.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,967.0			0.2660	1.6
	公共下水道		□	m^3	6,174.0			0.4000	2.5
合　計									⑯ 4.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野ビル9号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 3 4
事業所等の所在地	〒 1 1 0 － 0 0 1 4　区市町村名：台東区 町名番地以下：北上野2－8－7
事業所等の延床面積	6,858.52 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 254	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 494	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 496	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 72.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,011,170.0	9.76	9,869.0	0.4890	494.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 9,869.0		⑮ 494.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,395.0			0.2660	1.2
	公共下水道		□	m^3	4,395.0			0.4000	1.8
合　計									⑯ 2.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産両国ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 3 5
事業所等の所在地	〒 1 3 0 － 0 0 2 6　区市町村名：墨田区 町名番地以下：両国2-10-8
事業所等の延床面積	12,499.55 m²
事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 325	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 631	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 633	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 50.4	kg-CO_2/m²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm³	82,776.6	45.00	3,724.9	0.0136	185.8
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	910,730.0	9.76	8,888.7	0.4890	445.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 12,613.7		⑮ 631.1
その他	水道及び工業用水道		□	m³	5,467.0			0.2660	1.5
	公共下水道		□	m³	3,793.0			0.4000	1.5
合　計									⑯ 3.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産両国ビル別館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 3 6
事業所等の所在地	〒 1 3 0 － 0 0 2 6　区市町村名：墨田区 町名番地以下：両国2-10-6
事業所等の延床面積	1,354.10 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 26	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 50	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 50	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 36.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	103,615.0	9.76	1,011.3	0.4890	50.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 1,011.3		⑮ 50.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	335.0			0.2660	0.1
	公共下水道		□	m^3	335.0			0.4000	0.1
合　計									⑯ 0.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産亀戸ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 3 7
事業所等の所在地	〒 1 3 6 － 0 0 7 1　区市町村名 江東区 町名番地以下 亀戸1-42-20
事業所等の延床面積	12,077.19 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 379	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 736	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 739	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 60.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	85,214.5	45.00	3,834.7	0.0136	191.2
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,115,300.0	9.76	10,885.3	0.4890	545.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 14,720.0		⑮ 736.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,997.0			0.2660	1.6
	公共下水道		□	m^3	4,054.0			0.4000	1.6
合　計									⑯ 3.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産京橋ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 3 8			
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 4 1	区市町村名	中央区	
	町名番地以下	新富1－18－1		
事業所等の延床面積	7,612.48 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　■ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2022年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 373	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 725	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 728	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 95.2	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	1,483,915.0	9.76	14,483.0	0.4890	725.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 14,483.0		⑮ 725.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,574.0			0.2660	1.2
	公共下水道		□	m^3	4,574.0			0.4000	1.8
合　計									⑯ 3.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産人形町ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 3 9
事業所等の所在地	〒 1 0 3 － 0 0 1 2　区市町村名：中央区 町名番地以下：日本橋堀留町2－2－1
事業所等の延床面積	4,837.37 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 191	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 370	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 371	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 76.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	758,682.0	9.76	7,404.7	0.4890	371.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,404.7		⑮ 371.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,468.0			0.2660	0.7
	公共下水道		□	m^3	2,468.0			0.4000	1.0
合　計									⑯ 1.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産六甲ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 4 1			
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 3 3	区市町村名	中央区	
	町名番地以下	新川1－4－1		
事業所等の延床面積	10,232.92	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　■ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2022年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 338	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 657	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 3	t
	総　計（④=②+③）	④ 660	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 64.2	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	66,804.5	45.00	3,006.2	0.0136	149.9
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	1,037,742.0	9.76	10,128.4	0.4890	507.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 13,134.6		⑮ 657.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,639.0			0.2660	1.8
	公共下水道		□	m^3	4,892.0			0.4000	2.0
合　計									⑯ 3.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産浜町ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	4	5				
事業所等の所在地	〒	1	0	3	－	0	0	0	7	区市町村名	中央区			
	町名番地以下	日本橋浜町3－42－3												
事業所等の延床面積	10,605.00	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	□ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	■ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 430	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 834	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 836	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 78.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	83,256.0	45.00	3,746.5	0.0136	186.8
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,323,866.0	9.76	12,920.9	0.4890	647.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 16,667.5		⑮ 834.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,911.0			0.2660	1.3
	公共下水道		□	m^3	3,100.0			0.4000	1.2
合　計									⑯ 2.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産第二東陽ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 4 6
事業所等の所在地	〒 1 3 5 － 0 0 1 6　区市町村名 江東区 町名番地以下 東陽5－29－3
事業所等の延床面積	4,504.53 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 145	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 281	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 282	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 62.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	576,602.0	9.76	5,627.6	0.4890	282.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,627.6		⑮ 282.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,157.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,157.0			0.4000	0.9
合　計									⑯ 1.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産築地ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	4	7				
事業所等の所在地	〒	1	0	4	－	0	0	4	5	区市町村名	中央区			
	町名番地以下	築地7－17－1												
事業所等の延床面積	6,452.34	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 193	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 374	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総 計(④=②+③)	④ 375	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 57.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	766,697.0	9.76	7,483.0	0.4890	374.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 7,483.0		⑮ 374.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,773.0			0.2660	0.7
	公共下水道		□	m^3	2,773.0			0.4000	1.1
合 計									⑯ 1.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産茅場町ビル2号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 4 8
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 3 3　区市町村名：中央区 町名番地以下：新川2－26－3
事業所等の延床面積	7,124.40 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 157	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 306	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 307	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 42.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	625,912.0	9.76	6,108.9	0.4890	306.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 6,108.9		⑮ 306.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,871.0			0.2660	0.5
	公共下水道		□	m^3	1,871.0			0.4000	0.7
合　計									⑯ 1.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産茅場町ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 4 9			
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 3 3	区市町村名	中央区	
	町名番地以下	新川1－16－3		
事業所等の延床面積	10,533.88 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2022年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 347	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 674	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 675	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 63.9	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	1,379,427.0	9.76	13,463.2	0.4890	674.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 13,463.2		⑮ 674.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,802.0			0.2660	0.7
	公共下水道		□	m^3	2,802.0			0.4000	1.1
合　計									⑯ 1.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産豊洲TKビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	5	0				
事業所等の所在地	〒	1	3	5	－	0	0	5	1	区市町村名	江東区			
	町名番地以下	枝川1－9－4												
事業所等の延床面積	6,275.27	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	□ 自己所有	■ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 177	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 345	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 6	t
	総　計(④=②+③)	④ 351	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 54.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	705,908.0	9.76	6,889.7	0.4890	345.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 6,889.7		⑮ 345.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	9,957.0			0.2660	2.6
	公共下水道		□	m^3	9,957.0			0.4000	4.0
合　計									⑯ 6.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産豊洲ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	5	1				
事業所等の所在地	〒	1	3	5	－	0	0	5	1	区市町村名	江東区			
	町名番地以下	枝川1－9－6												
事業所等の延床面積	9,050.76	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	□ 自己所有	■ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 367	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 712	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総 計(④=②+③)	④ 714	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 78.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	89,111.1	45.00	4,010.0	0.0136	200.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,048,906.0	9.76	10,237.3	0.4890	512.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 14,247.3		⑮ 712.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,284.0			0.2660	1.4
	公共下水道		□	m^3	2,910.0			0.4000	1.2
合 計									⑯ 2.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友入船ビル2号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 5 2
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 4 2　区市町村名　中央区 町名番地以下　入船1－8－2
事業所等の延床面積	3,709.50 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2022年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 99	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 192	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 0	t
	総　計（④=②+③）	④ 192	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 51.7	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	393,982.0	9.76	3,845.3	0.4890	192.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,845.3		⑮ 192.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,302.0			0.2660	0.3
	公共下水道		□	m^3	1,302.0			0.4000	0.5
合　計									⑯ 0.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友新富ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 5 3
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 4 1　区市町村名 中央区 町名番地以下 新富2－14－4
事業所等の延床面積	4,835.08 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 130	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 253	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 254	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 52.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	519,160.0	9.76	5,067.0	0.4890	253.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,067.0		⑮ 253.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,246.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,246.0			0.4000	0.9
合　計									⑯ 1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産勝どきビル南館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 5 4
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 5 4　区市町村名：中央区 町名番地以下：勝どき6－1－15
事業所等の延床面積	14,478.43 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 548	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,064	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,068	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 73.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	90,545.6	45.00	4,074.6	0.0136	203.2
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,761,736.0	9.76	17,194.5	0.4890	861.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 21,269.1		⑮ 1,064.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	8,101.0			0.2660	2.2
	公共下水道		□	m^3	5,970.0			0.4000	2.4
合　計									⑯ 4.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	新永ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	5	5				
事業所等の所在地	〒	1	3	6	－	0	0	7	1	区市町村名	江東区			
	町名番地以下	亀戸2-35-13												
事業所等の延床面積	9,707.31	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	□ 自己所有	■ 他者所有												
報告範囲	□ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	■ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)											
	□ 工場	□ 複合施設	□ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 197	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 384	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 387	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 39.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	785,305.0	9.76	7,664.6	0.4890	384.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,664.6		⑮ 384.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,966.0			0.2660	1.3
	公共下水道		□	m^3	4,966.0			0.4000	2.0
合　計									⑯ 3.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産日本橋ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 5 6
事業所等の所在地	〒 1 0 3 － 0 0 2 3　区市町村名：中央区 町名番地以下：日本橋本町1－5－4
事業所等の延床面積	9,750.59 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 327	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 635	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 638	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 65.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,299,640.0	9.76	12,684.5	0.4890	635.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 12,684.5		⑮ 635.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,807.0			0.2660	1.3
	公共下水道		□	m^3	4,807.0			0.4000	1.9
合　計									⑯ 3.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	日本橋箱崎ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 5 9			
事業所等の所在地	〒 1 0 3 － 0 0 1 5	区市町村名	中央区	
	町名番地以下	日本橋箱崎町24－1		
事業所等の延床面積	20,536.72 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　■ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2022年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 697	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 1,355	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 5	t
	総　計（④=②+③）	④ 1,360	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 65.9	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	2,770,965.0	9.76	27,044.6	0.4890	1,355.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 27,044.6		⑮ 1,355.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	8,582.0			0.2660	2.3
	公共下水道		□	m^3	7,891.0			0.4000	3.2
合　計									⑯ 5.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉新川ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	6	0				
事業所等の所在地	〒	1	0	4	－	0	0	3	3	区市町村名	中央区			
	町名番地以下	新川1－5－18												
事業所等の延床面積	2,709.56	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 55	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 108	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 108	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 39.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	220,931.0	9.76	2,156.3	0.4890	108.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,156.3		⑮ 108.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,195.0			0.2660	0.3
	公共下水道		□	m^3	1,195.0			0.4000	0.5
合　計									⑯ 0.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヴィラフォンテーヌ日本橋箱崎
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 6 3
事業所等の所在地	〒 1 0 3 － 0 0 1 5　区市町村名：中央区 町名番地以下：日本橋箱崎町20－10
事業所等の延床面積	3,176.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 112	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 218	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 221	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 68.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	23,851.2	45.00	1,073.3	0.0136	53.5
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	337,840.0	9.76	3,297.3	0.4890	165.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,370.6		⑮ 218.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,776.0			0.2660	1.5
	公共下水道		□	m^3	5,776.0			0.4000	2.3
合　計									⑯ 3.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヴィラフォンテーヌ上野
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 6 4
事業所等の所在地	〒 1 1 1 － 0 0 5 6　区市町村名：台東区 町名番地以下：小島2－4－4
事業所等の延床面積	3,825.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 152	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 296	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 6	t
	総　計(④=②+③)	④ 302	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 77.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	43,638.7	45.00	1,963.7	0.0136	97.9
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	406,128.0	9.76	3,963.8	0.4890	198.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,927.5		⑮ 296.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	9,176.0			0.2660	2.4
	公共下水道		□	m^3	9,176.0			0.4000	3.7
合　計									⑯ 6.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヴィラフォンテーヌ大手町
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 6 5
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 4 7　区市町村名：千代田区 町名番地以下：内神田1－8－8
事業所等の延床面積	3,310.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 155	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 301	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 6	t
	総　計(④=②+③)	④ 307	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 90.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	44,062.1	45.00	1,982.8	0.0136	98.9
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	413,949.0	9.76	4,040.1	0.4890	202.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 6,022.9		⑮ 301.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	9,737.0			0.2660	2.6
	公共下水道		□	m^3	9,737.0			0.4000	3.9
合　計									⑯ 6.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	■ 有	□ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヴィラフォンテーヌ浜松町
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 6 6
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 1 4　区市町村名 港区 町名番地以下 芝1－6－5
事業所等の延床面積	2,678.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 123	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 238	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 241	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 88.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	28,951.3	45.00	1,302.8	0.0136	65.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	355,209.0	9.76	3,466.8	0.4890	173.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,769.6		⑮ 238.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,602.0			0.2660	1.5
	公共下水道		□	m^3	5,602.0			0.4000	2.2
合　計									⑯ 3.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヴィラフォンテーヌ茅場町
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 6 7
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 3 3　区市町村名：中央区 町名番地以下：新川1－8－2
事業所等の延床面積	7,689.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 244	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 474	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 12	t
	総　計(④=②+③)	④ 486	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 61.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	57,073.2	45.00	2,568.3	0.0136	128.1
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	707,737.0	9.76	6,907.5	0.4890	346.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 9,475.8		⑮ 474.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	19,060.0			0.2660	5.1
	公共下水道		□	m^3	19,060.0			0.4000	7.6
合　計									⑯ 12.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヴィラフォンテーヌ東京八丁堀
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 7 0
事業所等の所在地	〒 1 0 3 － 0 0 2 5　区市町村名：中央区 町名番地以下：日本橋茅場町3－3－3
事業所等の延床面積	2,399.50 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 113	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 219	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 222	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 91.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	33,917.0	45.00	1,526.3	0.0136	76.1
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	293,241.0	9.76	2,862.0	0.4890	143.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,388.3		⑮ 219.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,396.0			0.2660	1.4
	公共下水道		□	m^3	5,396.0			0.4000	2.2
合　計									⑯ 3.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産東京日本橋タワーアネックス
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 7 0
事業所等の所在地	〒 1 0 3 － 6 0 0 1　区市町村名：中央区 町名番地以下：日本橋2-8-1
事業所等の延床面積	4,403.29 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 152	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 295	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 296	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 66.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	604,365.0	9.76	5,898.6	0.4890	295.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,898.6		⑮ 295.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,993.0			0.2660	0.5
	公共下水道		□	m^3	1,993.0			0.4000	0.8
合　計									⑯ 1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヴィラフォンテーヌ九段下
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 7 1
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 6 5　区市町村名：千代田区 町名番地以下：西神田2－4－4
事業所等の延床面積	2,890.00 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 130	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 252	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 5	t
	総　計(④=②+③)	④ 257	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 87.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	34,405.2	45.00	1,548.2	0.0136	77.2
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	359,249.0	9.76	3,506.3	0.4890	175.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,054.5		⑮ 252.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	8,076.0			0.2660	2.1
	公共下水道		□	m^3	8,076.0			0.4000	3.2
合　計									⑯ 5.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	ヴィラフォンテーヌ新宿			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 7 4			
事業所等の所在地	〒 1 6 0 － 0 0 2 1	区市町村名	新宿区	
	町名番地以下	歌舞伎町2－40－9		
事業所等の延床面積	1,639.00	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　■ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2022年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 86	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 168	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 5	t
	総　計（④=②+③）	④ 173	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 102.5	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	23,839.6	45.00	1,072.8	0.0136	53.5
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	235,001.0	9.76	2,293.6	0.4890	114.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,366.4		⑮ 168.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	7,974.0			0.2660	2.1
	公共下水道		□	m^3	7,974.0			0.4000	3.2
合　計									⑯ 5.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	御茶ノ水杏雲ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 7 5
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 6 2　区市町村名：千代田区 町名番地以下：神田駿河台2－2
事業所等の延床面積	26,575.08 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 713	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,332	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 10	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,342	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 50.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	10,133.4	45.00	456.0	0.0136	22.7
	その他(LPG)	□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他(温水)	□	MJ	1,727,000.0	1.36	2,348.7	0.0600	103.6
	その他(冷水)	□	MJ	4,716,000.0	1.36	6,413.8	0.0600	283.0
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	1,887,471.0	9.76	18,421.7	0.4890	923.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計						⑭ 27,640.2		⑮ 1,332.3
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	16,280.0			0.2660	4.3
	公共下水道	□	m^3	14,616.0			0.4000	5.8
合　計								⑯ 10.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野ビル2号館			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 7 6			
事業所等の所在地	〒 1 1 0 － 0 0 1 4	区市町村名	台東区	
	町名番地以下	北上野2－23－5		
事業所等の延床面積	7,135.53 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2022年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 101	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 197	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 198	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 27.6	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	403,744.0	9.76	3,940.5	0.4890	197.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,940.5		⑮ 197.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,669.0			0.2660	0.4
	公共下水道		□	m^3	1,669.0			0.4000	0.7
合　計									⑯ 1.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産箱崎ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	7	7				
事業所等の所在地	〒	1	0	3	－	0	0	1	5	区市町村名	中央区			
	町名番地以下	日本橋箱崎町16－9												
事業所等の延床面積	5,916.50	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 100	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 194	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 194	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 32.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	397,173.0	9.76	3,876.4	0.4890	194.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,876.4		⑮ 194.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,270.0			0.2660	0.3
	公共下水道		□	m^3	1,270.0			0.4000	0.5
合　計									⑯ 0.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	シティタワー品川西棟
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 7 9
事業所等の所在地	〒 1 0 8 － 0 0 7 5　区市町村名：港区 町名番地以下：港南4－2－5
事業所等の延床面積	1,750.21 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　■ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 199	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 386	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 388	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 220.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	778.2	45.00	35.0	0.0136	1.7
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	787,755.0	9.76	7,688.5	0.4890	385.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,723.5		⑮ 387.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,512.0			0.2660	0.9
	公共下水道		□	m^3	3,512.0			0.4000	1.4
合　計									⑯ 2.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	シティタワー品川東棟
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 8 1
事業所等の所在地	〒 1 0 8 － 0 0 7 5　区市町村名：港区 町名番地以下：港南4－2－6
事業所等の延床面積	887.06 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　■ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 96	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 187	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 189	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 210.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	17,705.2	45.00	796.7	0.0136	39.7
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	302,438.0	9.76	2,951.8	0.4890	147.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,748.5		⑮ 187.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,293.0			0.2660	0.9
	公共下水道		□	m^3	3,293.0			0.4000	1.3
合　計									⑯ 2.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野ビル5号館			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 8 4			
事業所等の所在地	〒 1 1 0 － 0 0 1 4	区市町村名	台東区	
	町名番地以下	北上野1－10－14		
事業所等の延床面積	14,987.00	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　■ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2022年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 450	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 873	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 4	t
	総　計（④=②+③）	④ 877	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 58.2	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	98,927.4	45.00	4,451.7	0.0136	222.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	1,332,101.0	9.76	13,001.3	0.4890	651.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 17,453.0		⑮ 873.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	7,830.0			0.2660	2.1
	公共下水道		□	m^3	6,029.0			0.4000	2.4
合　計									⑯ 4.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友南青山ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	8	5				
事業所等の所在地	〒	1	0	7	－	0	0	6	2	区市町村名	港区			
	町名番地以下	南青山5－11－5												
事業所等の延床面積	10,336.94	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	□ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	■ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 429	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 833	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 836	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 80.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	89,451.3	45.00	4,025.3	0.0136	200.7
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,293,403.0	9.76	12,623.6	0.4890	632.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 16,648.9		⑮ 833.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,088.0			0.2660	1.6
	公共下水道		□	m^3	4,353.0			0.4000	1.7
合　計									⑯ 3.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東新橋一丁目ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	1	8	7				
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	2	1	区市町村名	港区			
	町名番地以下	東新橋1－2－5												
事業所等の延床面積	6,530.46	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 117	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 228	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 228	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 34.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	467,838.0	9.76	4,566.1	0.4890	228.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 4,566.1		⑮ 228.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,460.0			0.2660	0.4
	公共下水道		□	m^3	1,460.0			0.4000	0.6
合　計									⑯ 1.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産千代田富士見ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 9 5
事業所等の所在地	〒 1 0 2 － 0 0 7 1　区市町村名：千代田区 町名番地以下：富士見1－8－19
事業所等の延床面積	18,204.69 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 494	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 959	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 6	t
	総　計(④=②+③)	④ 965	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 52.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,962,989.0	9.76	19,158.8	0.4890	959.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 19,158.8		⑮ 959.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	9,411.0			0.2660	2.5
	公共下水道		□	m^3	9,411.0			0.4000	3.8
合　計									⑯ 6.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産半蔵門駅前ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 9 7
事業所等の所在地	〒 1 0 2 － 0 0 8 3　区市町村名：千代田区 町名番地以下：麹町1－6－4
事業所等の延床面積	17,219.70 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 555	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,078	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,082	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 62.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	□		0.0				
	その他()	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	2,205,498.0	9.76	21,525.7	0.4890	1,078.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計						⑭ 21,525.7		⑮ 1,078.5
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	6,905.0			0.2660	1.8
	公共下水道	□	m^3	6,905.0			0.4000	2.8
合　計								⑯ 4.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産渋谷インフォスアネックス
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 1 9 8
事業所等の所在地	〒 1 5 0 － 0 0 3 1　区市町村名：渋谷区 町名番地以下：桜丘町12－10
事業所等の延床面積	5,315.59 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 179	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 348	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 349	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 65.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	712,021.0	9.76	6,949.3	0.4890	348.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 6,949.3		⑮ 348.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,571.0			0.2660	0.4
	公共下水道		□	m^3	1,571.0			0.4000	0.6
合　計									⑯ 1.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産田町駅前ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	0	2				
事業所等の所在地	〒	1	0	8	－	0	0	2	3	区市町村名	港区			
	町名番地以下	芝浦3－1－35												
事業所等の延床面積	7,375.19	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 225	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 437	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総 計(④=②+③)	④ 438	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 59.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	893,887.0	9.76	8,724.3	0.4890	437.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 8,724.3		⑮ 437.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,276.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,276.0			0.4000	0.9
合 計									⑯ 1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産田町ファーストビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 0 3
事業所等の所在地	〒 1 0 8 － 0 0 2 3　区市町村名：港区 町名番地以下：芝浦4－6－8
事業所等の延床面積	21,801.65 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 860	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,670	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 6	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,676	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 76.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	3,417,041.0	9.76	33,350.3	0.4890	1,670.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 33,350.3		⑮ 1,670.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	9,056.0			0.2660	2.4
	公共下水道		□	m^3	9,056.0			0.4000	3.6
合　計									⑯ 6.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産大井町駅前ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 0 5
事業所等の所在地	〒 1 4 0 － 0 0 1 4　区市町村名：品川区 町名番地以下：大井1－28－1
事業所等の延床面積	25,657.84 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 816	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,585	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 7	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,592	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 61.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)	□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	□		0.0				
	その他()	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	3,242,517.0	9.76	31,647.0	0.4890	1,585.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計						⑭ 31,647.0		⑮ 1,585.6
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	10,688.0			0.2660	2.8
	公共下水道	□	m^3	10,688.0			0.4000	4.3
合　計								⑯ 7.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三富ビル新館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 0 6
事業所等の所在地	〒 1 5 0 － 0 0 1 3　区市町村名：渋谷区 町名番地以下：恵比寿1－20－18
事業所等の延床面積	9,623.90 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 373	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 742	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総　計(④=②+③)	④ 746	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 77.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	11,132.0	45.00	500.9	0.0136	25.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	25,618.0	36.70	940.2	0.0185	63.8
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,336,896.0	9.76	13,048.1	0.4890	653.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 14,489.2		⑮ 742.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,707.0			0.2660	1.8
	公共下水道		□	m^3	6,707.0			0.4000	2.7
合　計									⑯ 4.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ニチレイ東銀座ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 0 7
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 4 5　区市町村名：中央区 町名番地以下：築地6－19－20
事業所等の延床面積	27,599.43 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 829	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,609	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 8	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,617	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 58.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	92,427.7	45.00	4,159.2	0.0136	207.4
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,867,050.0	9.76	27,982.4	0.4890	1,402.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 32,141.7		⑮ 1,609.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	14,297.0			0.2660	3.8
	公共下水道		□	m^3	12,508.0			0.4000	5.0
合　計									⑯ 8.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産千代田ファーストウイング
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 1 5
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 5 1　区市町村名：千代田区 町名番地以下：神田神保町2－36－1
事業所等の延床面積	8,887.54 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 268	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 522	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 525	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 58.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,067,896.0	9.76	10,422.7	0.4890	522.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 10,422.7		⑮ 522.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,514.0			0.2660	1.5
	公共下水道		□	m^3	5,514.0			0.4000	2.2
合　計									⑯ 3.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産神田ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	1	6				
事業所等の所在地	〒	1	0	1	－	0	0	5	3	区市町村名	千代田区			
	町名番地以下	神田美土代町7番地												
事業所等の延床面積	29,031.79	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 1,251	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 2,429	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 9	t
	総 計(④=②+③)	④ 2,438	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 83.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	4,969,058.0	9.76	48,498.0	0.4890	2,429.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 48,498.0		⑮ 2,429.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	13,792.0			0.2660	3.7
	公共下水道		□	m^3	13,792.0			0.4000	5.5
合 計									⑯ 9.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産元赤坂ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 1 7
事業所等の所在地	〒 1 0 7 － 0 0 5 1　区市町村名 港区 町名番地以下 元赤坂1－5－12
事業所等の延床面積	5,966.29 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 221	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 430	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 431	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 72.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	880,651.0	9.76	8,595.2	0.4890	430.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 8,595.2		⑮ 430.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,306.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,306.0			0.4000	0.9
合　計									⑯ 1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	青森県会館アップルビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 1 8
事業所等の所在地	〒 1 0 2 － 0 0 7 1　区市町村名：千代田区 町名番地以下：富士見2－3－11
事業所等の延床面積	3,529.27 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 129	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 251	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 253	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 71.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	514,540.0	9.76	5,021.9	0.4890	251.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 5,021.9		⑮ 251.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,840.0			0.2660	1.0
	公共下水道		□	m^3	3,840.0			0.4000	1.5
合　計									⑯ 2.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産麹町ビル4号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 1 9
事業所等の所在地	〒 1 0 2 － 0 0 8 3　区市町村名：千代田区 町名番地以下：麹町2－10－9
事業所等の延床面積	3,957.52 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 164	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 319	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 319	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 80.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	654,080.0	9.76	6,383.8	0.4890	319.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 6,383.8		⑮ 319.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	931.0			0.2660	0.2
	公共下水道		□	m^3	931.0			0.4000	0.4
合　計									⑯ 0.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友入船ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 2 0
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 4 2　区市町村名 中央区 町名番地以下 入船2－1－1
事業所等の延床面積	18,812.27 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 421	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 818	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 820	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 43.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,673,919.0	9.76	16,337.4	0.4890	818.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 16,337.4		⑮ 818.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,448.0			0.2660	1.2
	公共下水道		□	m^3	4,448.0			0.4000	1.8
合　計									⑯ 3.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産渋谷ファーストタワー
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 2 2
事業所等の所在地	〒 1 5 0 － 0 0 1 1　区市町村名：渋谷区 町名番地以下：東1-2-20
事業所等の延床面積	52,941.53 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 1,302	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 2,528	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 8	t
	総　計(④=②+③)	④ 2,536	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 47.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	5,171,476.0	9.76	50,473.6	0.4890	2,528.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 50,473.6		⑮ 2,528.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	12,825.0			0.2660	3.4
	公共下水道		□	m^3	13,041.0			0.4000	5.2
合　計									⑯ 8.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産青山ビル西館													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	2	4				
事業所等の所在地	〒	1	0	7	－	0	0	5	2	区市町村名	港区			
	町名番地以下	赤坂8－5－26												
事業所等の延床面積	23,946.57	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 888	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,724	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 10	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,734	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 71.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	105,059.9	45.00	4,727.7	0.0136	235.8
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	3,044,183.0	9.76	29,711.2	0.4890	1,488.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 34,438.9		⑮ 1,724.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	13,700.0			0.2660	3.6
	公共下水道		□	m^3	16,433.0			0.4000	6.6
合　計									⑯ 10.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産御成門駅前ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	2	5				
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	0	4	区市町村名	港区			
	町名番地以下	新橋6-17-21												
事業所等の延床面積	8,896.23	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 281	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 546	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 548	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 61.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,118,430.0	9.76	10,915.9	0.4890	546.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 10,915.9		⑮ 546.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,261.0			0.2660	1.1
	公共下水道		□	m^3	4,261.0			0.4000	1.7
合　計									⑯ 2.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産千代田ファーストビル東館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 2 6
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 6 5　区市町村名：千代田区 町名番地以下：西神田3－8－1
事業所等の延床面積	38,786.51 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 1,290	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 2,503	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 14	t
	総　計(④=②+③)	④ 2,517	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 64.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	254,506.0	45.00	11,452.8	0.0136	571.1
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	3,950,749.0	9.76	38,559.3	0.4890	1,931.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 50,012.1		⑮ 2,503.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	21,840.0			0.2660	5.8
	公共下水道		□	m^3	22,077.0			0.4000	8.8
合　計									⑯ 14.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	泉九段ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	2	7				
事業所等の所在地	〒	1	0	2	－	0	0	7	4	区市町村名	千代田区			
	町名番地以下	九段南1-4-5												
事業所等の延床面積	623.15	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 51	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 99	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 99	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 158.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	2,206.9	45.00	99.3	0.0136	5.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	192,438.0	9.76	1,878.2	0.4890	94.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 1,977.5		⑮ 99.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	794.0			0.2660	0.2
	公共下水道		□	m^3	794.0			0.4000	0.3
合　計									⑯ 0.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産平河町ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 2 8
事業所等の所在地	〒 1 0 2 － 0 0 9 3　区市町村名：千代田区 町名番地以下：平河町2－1－1
事業所等の延床面積	12,326.31 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 362	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 703	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 706	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 57.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,437,897.0	9.76	14,033.9	0.4890	703.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 14,033.9		⑮ 703.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,723.0			0.2660	1.5
	公共下水道		□	m^3	5,723.0			0.4000	2.3
合　計									⑯ 3.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産秋葉原ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 2 9			
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 2 1	区市町村名	千代田区	
	町名番地以下	外神田3－12－8		
事業所等の延床面積	31,990.89	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2022年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 1,131	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 2,197	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 10	t
	総　計（④=②+③）	④ 2,207	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 68.6	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	4,494,767.0	9.76	43,868.9	0.4890	2,197.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 43,868.9		⑮ 2,197.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	15,554.0			0.2660	4.1
	公共下水道		□	m^3	15,554.0			0.4000	6.2
合　計									⑯ 10.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産品川ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	3	0				
事業所等の所在地	〒	1	4	0	－	0	0	0	2	区市町村名	品川区			
	町名番地以下	東品川4－10－27												
事業所等の延床面積	31,226.34	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	□ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	■ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)											
	□ 工場	□ 複合施設	□ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 965	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,872	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 9	t
	総 計(④=②+③)	④ 1,881	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 59.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	124,918.3	45.00	5,621.3	0.0136	280.3
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	3,256,935.0	9.76	31,787.7	0.4890	1,592.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 37,409.0		⑮ 1,873.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	16,781.0			0.2660	4.5
	公共下水道		□	m^3	12,948.0			0.4000	5.2
合 計									⑯ 9.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	西新宿8丁目ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	3	1				
事業所等の所在地	〒	1	6	0	－	0	0	2	3	区市町村名	新宿区			
	町名番地以下	西新宿8－15－1												
事業所等の延床面積	12,158.20	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 420	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 816	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 7	t
	総　計(④=②+③)	④ 823	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 67.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	83,112.0	45.00	3,740.0	0.0136	186.5
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,287,599.0	9.76	12,567.0	0.4890	629.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 16,307.0		⑮ 816.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	11,262.0			0.2660	3.0
	公共下水道		□	m^3	11,262.0			0.4000	4.5
合　計									⑯ 7.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	東陽駅前ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	3	2				
事業所等の所在地	〒	1	3	5	－	0	0	1	6	区市町村名	江東区			
	町名番地以下	東陽2－2－20												
事業所等の延床面積	32,839.99	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	□ 自己所有	■ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 996	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,934	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 7	t
	総 計(④=②+③)	④ 1,941	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 58.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	3,956,329.0	9.76	38,613.8	0.4890	1,934.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 38,613.8		⑮ 1,934.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	11,569.0			0.2660	3.1
	公共下水道		□	m^3	11,569.0			0.4000	4.6
合 計									⑯ 7.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産三田ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 3 9
事業所等の所在地	〒 1 0 8 － 0 0 1 4　区市町村名：港区 町名番地以下：芝5-37-8
事業所等の延床面積	24,937.91 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 915	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,775	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 9	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,784	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 71.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	298,736.9	45.00	13,443.2	0.0136	670.4
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,259,772.0	9.76	22,055.4	0.4890	1,105.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 35,498.5		⑮ 1,775.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	13,892.0			0.2660	3.7
	公共下水道		□	m^3	13,892.0			0.4000	5.6
合　計									⑯ 9.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産六本木グランドプラザ
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 4 0
事業所等の所在地	〒 1 0 6 － 0 0 3 2　区市町村名　港区 町名番地以下　六本木3-1-25
事業所等の延床面積	2,749.21 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　■ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 181	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 352	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総　計(④=②+③)	④ 356	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 128.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	23,209.4	45.00	1,044.4	0.0136	52.1
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	613,558.0	9.76	5,988.3	0.4890	300.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,032.7		⑮ 352.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	6,870.0			0.2660	1.8
	公共下水道		□	m^3	6,870.0			0.4000	2.7
合　計									⑯ 4.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産二番町ファーストビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 4 1
事業所等の所在地	〒 1 0 2 － 0 0 8 4　区市町村名：千代田区 町名番地以下：二番町4-5
事業所等の延床面積	18,600.40 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 629	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,223	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 6	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,229	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 65.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	960.6	45.00	43.2	0.0136	2.2
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,497,394.0	9.76	24,374.6	0.4890	1,221.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 24,417.8		⑮ 1,223.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	10,005.0			0.2660	2.7
	公共下水道		□	m^3	10,005.0			0.4000	4.0
合　計									⑯ 6.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産飯田橋ビル5号館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 4 2
事業所等の所在地	〒 1 1 2 － 0 0 0 4　区市町村名　文京区 町名番地以下　後楽2-1-2
事業所等の延床面積	8,204.43 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 227	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 442	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 443	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 53.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	905,042.0	9.76	8,833.2	0.4890	442.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 8,833.2		⑮ 442.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,949.0			0.2660	0.8
	公共下水道		□	m^3	2,949.0			0.4000	1.2
合　計									⑯ 2.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	築地えとビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 4 3
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 4 5　区市町村名 中央区 町名番地以下 築地1－12－6
事業所等の延床面積	11,518.34 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 275	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 535	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 6	t
	総　計(④=②+③)	④ 541	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 46.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,094,641.0	9.76	10,683.7	0.4890	535.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 10,683.7		⑮ 535.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	9,336.0			0.2660	2.5
	公共下水道		□	m^3	9,336.0			0.4000	3.7
合　計									⑯ 6.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産新宿ガーデンタワーアネックス
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 4 4
事業所等の所在地	〒 1 6 9 － 0 0 7 2　区市町村名：新宿区 町名番地以下：大久保3-8-4
事業所等の延床面積	802.66 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　■ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 85	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 165	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 166	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 205.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	13,610.5	45.00	612.5	0.0136	30.5
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	276,087.0	9.76	2,694.6	0.4890	135.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,307.1		⑮ 165.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,126.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,126.0			0.4000	0.9
合　計									⑯ 1.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産新橋ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	4	5				
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	0	4	区市町村名	港区			
	町名番地以下	新橋6－9－8												
事業所等の延床面積	8,398.12	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 397	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 771	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 774	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 91.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,577,911.0	9.76	15,400.4	0.4890	771.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 15,400.4		⑮ 771.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,800.0			0.2660	1.5
	公共下水道		□	m^3	5,800.0			0.4000	2.3
合　計									⑯ 3.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産田町ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	4	6				
事業所等の所在地	〒	1	0	8	－	0	0	2	3	区市町村名	港区			
	町名番地以下	芝浦3－12－7												
事業所等の延床面積	11,826.37	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	■ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 364	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 707	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総 計(④=②+③)	④ 708	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 59.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,446,043.0	9.76	14,113.4	0.4890	707.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 14,113.4		⑮ 707.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,607.0			0.2660	0.7
	公共下水道		□	m^3	2,607.0			0.4000	1.0
合 計									⑯ 1.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友大井町ビル南館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 4 7
事業所等の所在地	〒 1 4 0 － 0 0 1 4　区市町村名：品川区 町名番地以下：大井1－20－10
事業所等の延床面積	21,212.43 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 1,403	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 2,725	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 9	t
	総　計(④=②+③)	④ 2,734	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 128.4	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	79,454.5	45.00	3,575.5	0.0136	178.3
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	5,208,936.0	9.76	50,839.2	0.4890	2,547.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 54,414.7		⑮ 2,725.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	14,417.0			0.2660	3.8
	公共下水道		□	m^3	13,382.0			0.4000	5.4
合　計									⑯ 9.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友中野坂上ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	5	0				
事業所等の所在地	〒	1	6	4	－	0	0	1	1	区市町村名	中野区			
	町名番地以下	中央1-38-1												
事業所等の延床面積	32,851.21	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 1,320	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 2,560	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 9	t
	総 計(④=②+③)	④ 2,569	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 77.9	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	308,900.4	45.00	13,900.5	0.0136	693.2
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	3,818,733.0	9.76	37,270.8	0.4890	1,867.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 51,171.4		⑮ 2,560.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	11,103.0			0.2660	3.0
	公共下水道		□	m^3	16,464.0			0.4000	6.6
合 計									⑯ 9.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産麹町ファーストビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 5 1
事業所等の所在地	〒 1 0 2 － 0 0 8 3　区市町村名：千代田区 町名番地以下：麹町4-2-6
事業所等の延床面積	13,502.31 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 365	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 709	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 712	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 52.5	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	592.6	45.00	26.7	0.0136	1.3
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,448,972.0	9.76	14,142.0	0.4890	708.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 14,168.6		⑮ 709.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,686.0			0.2660	1.5
	公共下水道		□	m^3	5,686.0			0.4000	2.3
合　計									⑯ 3.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産御成門タワー													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	5	2				
事業所等の所在地	〒	1	0	5	－	0	0	1	4	区市町村名	港区			
	町名番地以下	芝公園1-1-1												
事業所等の延床面積	32,692.84	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 1,183	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 2,298	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 10	t
	総 計(④=②+③)	④ 2,308	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 70.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	36,828.1	45.00	1,657.3	0.0136	82.6
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	4,531,969.0	9.76	44,232.0	0.4890	2,216.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 45,889.3		⑮ 2,298.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	15,700.0			0.2660	4.2
	公共下水道		□	m^3	15,700.0			0.4000	6.3
合 計									⑯ 10.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産八丁堀ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 5 3
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 3 2　区市町村名 中央区 町名番地以下 八丁堀3-3-5
事業所等の延床面積	8,977.12 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 191	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 371	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 373	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 41.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	759,529.0	9.76	7,413.0	0.4890	371.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 7,413.0		⑮ 371.4
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,020.0			0.2660	1.1
	公共下水道		□	m^3	4,020.0			0.4000	1.6
合　計									⑯ 2.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産ふくおか半蔵門ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 5 4
事業所等の所在地	〒 1 0 2 － 0 0 8 3　区市町村名：千代田区 町名番地以下：麹町1-12-1
事業所等の延床面積	11,678.64 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 253	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 491	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 492	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 42.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	216.5	45.00	9.7	0.0136	0.5
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,004,568.0	9.76	9,804.6	0.4890	491.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 9,814.3		⑮ 491.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,404.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,404.0			0.4000	1.0
合　計									⑯ 1.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産秋葉原北ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 5 5
事業所等の所在地	〒 1 1 0 － 0 0 0 5　区市町村名：台東区 町名番地以下：上野5-2-1
事業所等の延床面積	11,596.32 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 472	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 917	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 920	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 79.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,877,287.0	9.76	18,322.3	0.4890	918.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 18,322.3		⑮ 918.0
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	4,860.0			0.2660	1.3
	公共下水道		□	m^3	4,860.0			0.4000	1.9
合　計									⑯ 3.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産水道橋西口ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	5	6				
事業所等の所在地	〒	1	0	1	－	0	0	6	1	区市町村名	千代田区			
	町名番地以下	神田三崎町2-20-5												
事業所等の延床面積	3,278.43	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 84	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 164	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総 計(④=②+③)	④ 165	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 50.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	336,643.0	9.76	3,285.6	0.4890	164.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 3,285.6		⑮ 164.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,893.0			0.2660	0.5
	公共下水道		□	m^3	1,893.0			0.4000	0.8
合 計									⑯ 1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産渋谷タワー
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 5 7
事業所等の所在地	〒 1 5 0 － 0 0 1 1　区市町村名：渋谷区 町名番地以下：宇田川町40-1
事業所等の延床面積	31,380.96 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	■ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 1,368	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 2,658	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 9	t
	総　計(④=②+③)	④ 2,667	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 84.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	343.2	45.00	15.4	0.0136	0.8
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	5,434,237.0	9.76	53,038.2	0.4890	2,657.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 53,053.6		⑮ 2,658.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	12,030.0			0.2660	3.2
	公共下水道		□	m^3	14,578.0			0.4000	5.8
合　計									⑯ 9.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヨコソーレインボータワー
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 5 8
事業所等の所在地	〒 1 0 8 － 0 0 2 2　区市町村名：港区 町名番地以下：海岸3-20-20
事業所等の延床面積	40,584.18 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 903	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,753	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 12	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,765	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 43.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	□	Nm^3	129,534.0	45.00	5,829.0	0.0136	290.7
	その他(LPG)	□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)	□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()	□		0.0				
	その他()	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気 夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	2,991,298.0	9.76	29,195.1	0.4890	1,462.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2			kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計						⑭ 35,024.1		⑮ 1,753.4
その他	水道及び工業用水道	□	m^3	20,284.0			0.2660	5.4
	公共下水道	□	m^3	17,721.0			0.4000	7.1
合　計								⑯ 12.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ニチレイ水道橋ビルアネックス
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 5 9
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 6 1　区市町村名：千代田区 町名番地以下：神田三崎町3-3-23
事業所等の延床面積	6,546.32 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 329	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 639	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 640	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 97.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,308,452.0	9.76	12,770.5	0.4890	639.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 12,770.5		⑮ 639.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,764.0			0.2660	0.5
	公共下水道		□	m^3	1,764.0			0.4000	0.7
合　計									⑯ 1.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産芝大門二丁目ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 6 0
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 1 2　区市町村名　港区 町名番地以下　芝大門2-11-8
事業所等の延床面積	8,589.19 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間　■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分　□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2022年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 157	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 305	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 1	t
	総　計（④=②+③）	④ 306	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 35.5	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	624,883.0	9.76	6,098.9	0.4890	305.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 6,098.9		⑮ 305.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,054.0			0.2660	0.5
	公共下水道		□	m^3	2,054.0			0.4000	0.8
合　計									⑯ 1.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書（その2）

1　事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産秋葉原駅前ビル			
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 6 1			
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 2 2	区市町村名	千代田区	
	町名番地以下	神田練塀町300番地		
事業所等の延床面積	27,060.36 m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分　□ 1年未満	
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有			
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部（テナント）　□ 建物の一部（その他）			
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設（物販）　□ 商業施設（飲食） □ 工場　□ 複合施設　□ その他			
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1	連鎖化事業区分	□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当	
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用			
前年度の報告内容からの変更点				

2　原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（2022年度の状況）

原油換算エネルギー使用量（①=⑭×0.0258）		① 873	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量（②=⑮）	② 1,696	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量（③=⑯）	③ 7	t
	総　計（④=②+③）	④ 1,703	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量（⑤=②×1000/事業所等の延床面積）	⑤ 62.6	kg-CO_2/m^2

3　二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量（GJ） ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1（t） ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	356.0	45.00	16.0	0.0136	0.8
	その他（LPG）		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他（灯油）		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他（）		□		0.0				
	その他（）		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間（8時～22時）	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間（22時～翌日8時）	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）		□	kWh	3,467,816.0	9.76	33,845.9	0.4890	1,695.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 33,861.9		⑮ 1,696.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	10,544.0			0.2660	2.8
	公共下水道		□	m^3	10,544.0			0.4000	4.2
合　計									⑯ 7.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電（昼夜間不明の場合を含む。）の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（日本産業規格A列4番）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産新宿セントラルパークタワー
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 6 2
事業所等の所在地	〒 1 6 0 － 0 0 2 3　区市町村名：新宿区 町名番地以下：西新宿6-18-1
事業所等の延床面積	58,191.96 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　■ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	■ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 1,171	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 2,275	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 9	t
	総　計(④=②+③)	④ 2,284	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 39.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	641.3	45.00	28.9	0.0136	1.4
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	4,649,573.0	9.76	45,379.8	0.4890	2,273.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 45,408.7		⑮ 2,275.1
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	14,084.0			0.2660	3.7
	公共下水道		□	m^3	15,089.0			0.4000	6.0
合　計									⑯ 9.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産秋葉原ファーストビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 6 3
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 2 1　区市町村名：千代田区 町名番地以下：外神田1-5-1
事業所等の延床面積	26,059.68 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	■ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 686	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,332	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 4	t
	総　計(④=②+③)	④ 1,336	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 51.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,725,081.0	9.76	26,596.8	0.4890	1,332.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 26,596.8		⑮ 1,332.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	7,474.0			0.2660	2.0
	公共下水道		□	m^3	7,474.0			0.4000	3.0
合　計									⑯ 5.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産池袋東ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	6	4				
事業所等の所在地	〒	1	7	0	－	0	0	1	3	区市町村名	豊島区			
	町名番地以下	東池袋4-7-7												
事業所等の延床面積	16,384.68	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	■ 1年度分	□ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 647	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 1,257	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 6	t
	総 計(④=②+③)	④ 1,263	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 76.7	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	2,572,126.0	9.76	25,103.9	0.4890	1,257.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 25,103.9		⑮ 1,257.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	10,497.0			0.2660	2.8
	公共下水道		□	m^3	10,497.0			0.4000	4.2
合 計									⑯ 7.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産秋葉原ファーストテラス
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 6 5
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 2 1　区市町村名：千代田区 町名番地以下：外神田1-9-1
事業所等の延床面積	990.21 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　■ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 58	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 113	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 113	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 114.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	232,626.0	9.76	2,270.4	0.4890	113.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,270.4		⑮ 113.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,465.0			0.2660	0.4
	公共下水道		□	m^3	1,465.0			0.4000	0.6
合　計									⑯ 1.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産汐留ウイング
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 6 7
事業所等の所在地	〒 1 0 5 － 0 0 2 1　区市町村名 港区 町名番地以下 東新橋1-2-17
事業所等の延床面積	9,898.29 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ■ 1年度分 □ 1年未満
所有形態	■ 自己所有 □ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 工場 □ 複合施設 □ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分 □ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置 □ 再生可能エネルギー電気の受入 □ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 296	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 576	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 578	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 58.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,178,497.0	9.76	11,502.1	0.4890	576.3
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 11,502.1		⑮ 576.3
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,228.0			0.2660	0.9
	公共下水道		□	m^3	3,228.0			0.4000	1.3
合　計									⑯ 2.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産御茶ノ水ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 6 8
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 2 1　区市町村名：千代田区 町名番地以下：外神田2-2-3
事業所等の延床面積	12,792.66 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 343	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 667	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 3	t
	総　計(④=②+③)	④ 670	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 52.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,365,539.0	9.76	13,327.7	0.4890	667.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 13,327.7		⑮ 667.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	5,927.0			0.2660	1.6
	公共下水道		□	m^3	5,927.0			0.4000	2.4
合　計									⑯ 3.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産勝どきハイツ
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 6 9
事業所等の所在地	〒 1 0 4 － 0 0 5 4　区市町村名：中央区 町名番地以下：勝どき3-9-7
事業所等の延床面積	312.39 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	□ 自己所有　■ 他者所有
報告範囲	□ 建物の全部　■ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	7 8 4 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 72	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 140	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 10	t
	総　計(④=②+③)	④ 150	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 448.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	44,492.2	45.00	2,002.1	0.0136	99.8
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	83,155.0	9.76	811.6	0.4890	40.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,813.7		⑮ 140.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	16,193.0			0.2660	4.3
	公共下水道		□	m^3	16,193.0			0.4000	6.5
合　計									⑯ 10.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産田町ビル東館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 7 1
事業所等の所在地	〒 1 0 8 － 0 0 2 3　区市町村名：港区 町名番地以下：芝浦3-16-16
事業所等の延床面積	12,885.63 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 293	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 569	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 2	t
	総　計(④=②+③)	④ 571	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 44.1	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,165,262.0	9.76	11,373.0	0.4890	569.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 11,373.0		⑮ 569.8
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	3,706.0			0.2660	1.0
	公共下水道		□	m^3	3,706.0			0.4000	1.5
合　計									⑯ 2.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産神田和泉町ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 7 2
事業所等の所在地	〒 1 0 1 － 0 0 2 4　区市町村名：千代田区 町名番地以下：神田和泉町1-9-2
事業所等の延床面積	10,026.18 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	新築

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 160	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 311	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 312	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 31.0	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1 (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	637,797.0	9.76	6,224.9	0.4890	311.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 6,224.9		⑮ 311.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,178.0			0.2660	0.6
	公共下水道		□	m^3	2,178.0			0.4000	0.9
合　計									⑯ 1.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産市ヶ谷曙橋ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 7 3
事業所等の所在地	〒 1 6 0 － 0 0 0 1　区市町村名：新宿区 町名番地以下：片町1-1
事業所等の延床面積	5,543.84 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	新築

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 92	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 179	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 179	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 32.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	367,215.0	9.76	3,584.0	0.4890	179.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 3,584.0		⑮ 179.6
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	363.0			0.2660	0.1
	公共下水道		□	m^3	363.0			0.4000	0.1
合　計									⑯ 0.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産水道橋壱岐坂ビル
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 7 4
事業所等の所在地	〒 1 1 3 － 0 0 3 3　区市町村名：文京区 町名番地以下：本郷1-10-9
事業所等の延床面積	5,243.46 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	新築

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 30	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 59	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総　計(④=②+③)	④ 59	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 11.2	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	122,007.0	9.76	1,190.8	0.4890	59.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 1,190.8		⑮ 59.7
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	530.0			0.2660	0.1
	公共下水道		□	m^3	530.0			0.4000	0.2
合　計									⑯ 0.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産大崎ツインビル東館
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 7 5
事業所等の所在地	〒 1 4 1 － 0 0 0 1　区市町村名：品川区 町名番地以下：北品川5-1-18
事業所等の延床面積	47,203.15 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	■ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　□ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	■ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	新築

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 300	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 584	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 585	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 12.3	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	1,194,588.0	9.76	11,659.2	0.4890	584.2
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 11,659.2		⑮ 584.2
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	2,678.0			0.2660	0.7
	公共下水道		□	m^3	2,678.0			0.4000	1.1
合　計									⑯ 1.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	住友不動産上野御徒町ビル													
事業所番号	A	1	0	2	6	－	0	2	7	6				
事業所等の所在地	〒	1	1	1	－	0	0	4	1	区市町村名	台東区			
	町名番地以下	元浅草3-7-1												
事業所等の延床面積	6,352.22	m^2	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	□ 1年度分	■ 1年未満									
所有形態	■ 自己所有	□ 他者所有												
報告範囲	■ 建物の全部	□ 建物の一部(テナント)	□ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	■ 事務所	□ 商業施設(物販)	□ 商業施設(飲食)	□ 工場	□ 複合施設	□ その他								
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分	□ 直営店	□ 加盟店	■ 非該当						
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置	□ 再生可能エネルギー電気の受入	□ 証書による環境価値の利用											
前年度の報告内容からの変更点	新築													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 77	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 150	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 0	t
	総 計(④=②+③)	④ 150	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 23.6	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	0.0	45.00	0.0	0.0136	0.0
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	307,822.0	9.76	3,004.3	0.4890	150.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合 計							⑭ 3,004.3		⑮ 150.5
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	994.0			0.2660	0.3
	公共下水道		□	m^3	994.0			0.4000	0.4
合 計									⑯ 0.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	ヴィラフォンテーヌ東京日本橋三越前
事業所番号	A 1 0 2 6 － 0 2 7 7
事業所等の所在地	〒 1 0 3 － 0 0 2 3　区市町村名：中央区 町名番地以下：日本橋本町1-7-6
事業所等の延床面積	1,951.68 m^2　事業所等の実績年度のエネルギー使用期間：■ 1年度分　□ 1年未満
所有形態	■ 自己所有　□ 他者所有
報告範囲	■ 建物の全部　□ 建物の一部(テナント)　□ 建物の一部(その他)
報告範囲の主たる用途	□ 事務所　□ 商業施設(物販)　□ 商業施設(飲食) □ 工場　□ 複合施設　■ その他
日本標準産業分類における細分類番号	6 9 1 1　連鎖化事業区分：□ 直営店　□ 加盟店　■ 非該当
再生可能エネルギーの利用状況	□ 再生可能エネルギー発電設備の設置　□ 再生可能エネルギー電気の受入　□ 証書による環境価値の利用
前年度の報告内容からの変更点	当社所有に変更

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(2022年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		① 75	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	② 146	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③ 1	t
	総　計(④=②+③)	④ 147	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤ 74.8	$kg\text{-}CO_2/m^2$

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量(GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量 排出係数 ⑨	二酸化炭素排出量 排出量※1(t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス		□	Nm^3	14,786.9	45.00	665.4	0.0136	33.2
	その他(LPG)		□	kg	0.0	50.80	0.0	0.0161	0.0
	その他(灯油)		□	L	0.0	36.70	0.0	0.0185	0.0
	その他()		□		0.0				
	その他()		□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.4890	0.0
		夜間(22時～翌日8時)	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.4890	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		□	kWh	232,637.0	9.76	2,270.5	0.4890	113.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※2				kWh	⑫ 0.0	9.76	⑪ 0.0	0.4890	⑬ 0.0
合　計							⑭ 2,935.9		⑮ 146.9
その他	水道及び工業用水道		□	m^3	1,956.0			0.2660	0.5
	公共下水道		□	m^3	1,956.0			0.4000	0.8
合　計									⑯ 1.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000
⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000　⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

（裏）

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A401	テナントにエネルギー使用量提供	A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A404	テナントへの温暖化対策協力依頼
				A406	使用量に応じた料金体系等の採用
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
				B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C105	昼休み時の消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C803	フロア共用部の温度の把握・設定	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C804	共用部のフロアごとの空調の管理	C113	中間期における外気冷房の実施
				C122	冷風と温風の混合損失の防止
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C813	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
				D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策			E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E133	節水器具の採用

実績年度の目標達成の状況	□ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	□ 有	■ 無					
目標値等（選択）	ベンチマーク区分		ランク		CO_2削減率（前年度比）		%
	CO_2排出量（延床面積当たり）		$kg\text{-}CO_2/m^2$		CO_2排出量（総量）		t
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

（日本産業規格A列4番）